

ADV	ID キャラ	セリフ	備考
			※背景「フォルフォート平原」
	サヴァ		
1	ナレ（サヴァ）	120年前、それはまだご主人様が不死身の体となる前の物語。先の真王ユリイテールと、過去に飛んだご主人様はどのようにして出会ったのか…	
	ト書き		
2	ナレ（サヴァ）	どうしてご主人様がユリイテールの力を借りて自分の肉体に、温情の聖杯に宿ったルシファアの魂を移し替えることになったのか…	
3	ナレ（サヴァ）	竜仙香の香りに導かれて、ご主人様は深い深い記憶の中を歩み続けることになるー	
	ト書き	背景：暗転	
4	????	…ご主人様？	
	ト書き	いい加減に起きてくれませんか？	
5	????	あ、あ、そろそろお腹が空いて死んじゃいそうなんですけど？ おーい。	
	ト書き	背景：明転（目を開ける）	
6	サヴァ	サヴァ、立ち絵表示。	
	ト書き	あ、よーやく起きた。	
7	サヴァ	あ、あ、どうしてこんなポーっとしたご主人様の監視者になっちゃったんだろう、あ、あ、あ…	
8	サヴァ	どうせご主人様のことだから、またくるみを持って	

9	サヴァ	ポケーっとしてたんでしょ？
10	サヴァ	あ、言っておきますけど、あたし……くるみは食べませんからね。あたしが食べたいのはお魚です！
11	サヴァ	……おっと話題が逸れちゃった。それよりも今日もいつも通り見張りに行くんでしょ？
12	サヴァ	ルシファー遺物の『温情の聖杯』、でしたっけ？誰かがそれを持ち出さないか見張り続ける……
13	サヴァ	この数年、ずー……とそればかり！ご主人様、飽きたりしないんですかあ……？
14	サヴァ	……まあ、あたしはご主人様についてくだけなんですけどね！
15	サヴァ	（あたしが監視することになったのはくるみを持った不思議な子ども。どうやら未来から来たらしい……）
16	サヴァ	（最初の頃は右往左往するばかりで、あたしも相当手を焼いたものだけ……）
17	サヴァ	（流砂の洞窟に住まう砂漠の賢人の協力もあってここ数年は、どうやら戦う術も覚えてきたみたい）
18	サヴァ	（どうやら目的は、私設騎士団の創立者……クラウドス家が持つ『温情の聖杯』らしい）
19	サヴァ	（なんでも、聖杯に宿ったルシファーの魂が今後どこへ行くか確かめなきゃいけないとか……）
20	サヴァ	（だから今日もこうしてクラウドス家から離れた場所から聖杯に異常がないか見張ってるんだけど）
21	サヴァ	（これって誰がどう見てもハズレクジよね！？）
22	サヴァ	（あくあ、どうせ監視者になるならもっとしつかりしたヒトに就きたかったなあ……）
23	サヴァ	毎日毎日、暇すぎて本当に退屈……！

22	サヴァ (M)	(そりゃあ、ここ数年でご主人様もちっちゃい子どもから見事に様変わりはしてますけどー)
23	サヴァ (M)	(無口でポーっとしてるのは相変わらずだしくるみはずーっと持ってたまだし…)
	ト書き	SE：足音 (兵士たちが近づいてくる)
24	サヴァ	…ってご主人様!? なんか向こうから怪しい集団が近づいてきますよ??
25	サヴァ	あの兵士たち、クラウド家のヒトとは違うみたいだけど…すっごく怖い顔してます!
26	サヴァ	捕まったら口クでもないことになりますっ! 早く逃げましょう!
	ト書き	サヴァ立ち絵、左右へ行ったり来たり。
27	サヴァ	わわっ、あたしたちを追いかけてきたっ!? ご主人様、もっと早く走って!!
28	サヴァ	ええっ、こっちにも兵士がいるっ!?! あたしたちを挟み撃ちにするつもりねっ!?!
29	サヴァ	わあ、ちょっと! あたしの尻尾を掴まないで! 思い切り引っ掻いてやるっ!
30	サヴァ	ちよっご主人様! ぼさっを見てないで早く手を貸してー!
	ト書き	SE：空腹
31	サヴァ	ええっ!? こんな時にお腹が減って力が出ないっ!? そんなあ…
32	サヴァ	もっ! こんなヒトがあたしのご主人様だなんて運命はなんて残酷なのっ!?!?

35	34	33
サヴァ (M)	サヴァ (M)	サヴァ (M)
哀れなサヴァをどうかお救いくださいーい！ (ああ、神様……	(本当に、これからどうなっちゃうの……？)	(……こっして、迂闊すぎるご主人様のせいで あたしたちはまんまと捕まってしまった)

ADV	ID キャラ	セリフ	備考
			新背景↓グリーンズ 平原（120年前 ～：現在のグリー ズ平原の荒廃感が 薄まっているイメ ジ
	サヴァ		
1	サヴァ（M）	（あたしたちを捕らえたのは、ミスト領のお隣 ヘルフィヨトルという国の兵士たちだった）	
2	サヴァ（M）	（兵士たちはどうやらクラウドス家にある ルシファ―遺物を狙っているようで…）	
3	サヴァ（M）	（間が悪く、その見張りをしていたご主人様を 同業者か何かと勘違いしたみたい）	
	ト書き	サヴァ、立ち絵表示。	
4	サヴァ	…で、ご主人様もあたしも まんまと捕まっちゃったわけです。	
5	サヴァ	きつとアイツら、あたしたちからミスト領や クラウドス家の情報を聞き出すつもりですよ！	
6	サヴァ	見覚えのない場所に運ばれてるみたいですし さっさと逃げちゃいたいところだけど…	
	ト書き	SE：ザッと立ち上がる音	
7	サヴァ	ちよっとご主人様…！！？ どこに行くつもりです！？	
8	サヴァ	まさか、こんなに大勢の兵士が監視してる状況で 逃げ出すつもりじゃないですよねっ…！！	

				POP										
20	19	18	ト書き											
サヴァ	サヴァ	サヴァ	サヴァ		17	16	15	14	13	12	11	10		9
邪魔するモンスターは	今なら逃げ出せそう！ ご主人様、さっさと 行きましょー！	おっと！ あの兵士たち モンスターに気を取られてる みたいですよ……！	野良モンスター ※120年前なので、魔導兵・魔導傀儡は登場しない		ふう……ホントに手が焼けるんだから。	……なら、今は大人しくして 逃げ出せるタイミングを探しましょう。	そこんとこ、ちゃんとわかっていますよね？	無謀なことをされて呆気なく死なれて…… それで監督不行き届きで怒られたくないんです。	言っておきますけど、あたしの役目は ご主人様の監視ですから――	はあ……未来から来たのはともかく 自分がただのヒトだってこと自覚あるのかなあ……	今は多勢に無勢……下手に抵抗したら あつという間に斬られちゃいますよ！	そりゃあ、ご主人様がそこそこ戦えるのは あたしも知ってますけど……		無謀にも程があります！ 自分が『不死身の戦士』とでも思ってますせん！？

									POP	
	24	23	22	21	ト書き	サヴァ				
倒して〜！早く〜！	急いでモンスターを ご主人様！	あつたたちの脱走に 気付いたみたい…！	あの兵士たち、	つて、後ろから 足音が！？	兵士たちを完全に 撤けそうです！	野良モンスター ※120年前なので、魔導兵・魔導傀儡は登場しない よし…ここを抜ければ				蹴散らしちゃって ください！

ADV	ID	キャラ	セリフ	備考
	10	サヴァ	あたしも監視者として自分の役目をしつっかり全うしますから。	
	9	サヴァ	というわけでご主人様！ とりあえず死なない程度に頑張ってくださいねっ。	
	8	サヴァ	兵士たちが、ご主人様ひとりを目掛けて押し寄せるのは避けられません。	
	7	サヴァ	ご主人様以外のヒトには、あたしはただのニャアニャア鳴いてる猫にしか見えませんからー	
	6	サヴァ	もしご主人様が死んだら、あたしもお役御免だからなあ…：それも嫌だなあ。	
	5	サヴァ	そこら辺の野良モンスターはともかくいきなりヒトと戦えるのかどうか…：	
	4	サヴァ	ほら、砂漠の賢人の助言で、ご主人様は今までの周りのヒトとの接触を極力避けてきたでしょ？	
	3	サヴァ	でもなあ、今のご主人様には荷が重すぎるっていうか…：	
	2	サヴァ	こうなったら連中を倒すしか…：…：	
	1	サヴァ	も〜しつこい！ あの兵士たち、まだ追ってきますよ〜。	
		ト書き ト書き	SE：大勢の駆け足（ヘルフィヨトル兵が追ってくる） サヴァ、立ち絵表示。	
		サヴァ		

17	POP	16	15	14	POP	13	12	POP	11
サヴァ ト書き サヴァ		サヴァ	サヴァ	サヴァ ト書き サヴァ		サヴァ	サヴァ ト書き		サヴァ
集まってくる… まだまだ兵士が うわあ… ※120年前なので、魔導兵・魔導傀儡は登場しない		ちゃんと集中しないと！ 目の前の敵に	兵士がとんとん 押し寄せてるんですから！	ご主人様！ 休んでる暇は ありませんよっ。		ご主人様 頑張ってくださいー！	あだしにできるのは 監視と応援くらい… ※120年前なので、魔導兵・魔導傀儡は登場しない		ほらほら、連中が来ますよ？ さっさと武器を構えてっ！

	20	19	18
	サヴァ	サヴァ	サヴァ
口くなことが起きないわっ！	ご主人様のそばは はあく……まったく。	かと言って、あたしは ご主人様の監視者だから 離れるわけにもいかない。	これはちょっと…… ううん、かなり 分が悪いかも。

ADV	ID キャラ	セリフ	備考
	1	サヴァ (M) （一度は脱出を試みたものの、多勢に無勢で 呆気なく捕らえられてしまったご主人様）	
	2	サヴァ (M) （そのまま兵士たちに連れてこられたのは ヘルフィヨトルの首都ミスガルドだった）	
	3	サヴァ (M) （はあ…：ホントにこれから先 いったいどうなることやら…：）	
	4	サヴァ 『ご主人様、どうやらあたしたち、ヘルフィヨトルの 王様の前に引き出されるみたいですよ。』	
	5	サヴァ 兵士たちの話だと、ヘルフィヨトル王は 『智王』と呼ばれて、とっても頭が良いみたい。	
	6	サヴァ 歴代の王様の中でも、統率力やカリスマ性 どこを見ても文句なしの王様らしいわ…：	
	7	サヴァ 王様に引き立てられたヒトは、みーんな 才能を開花させて彼と国のために働くとか。	
	8	サヴァ うーん、そーゆーの…：あたしはちょっと 胡散臭い気がしますけどね！	
	ト書き	サヴァ、立ち絵表示。	
	ト書き	クリイデール、立ち絵表示。	
			新背景↓首都ミス ガルド（120年 前）より人の活気 があるイメージ（ 魔導兵が蔓延る前 のため）

				POP												
20	19	18	ト書き	サヴァ		17	16	15	14	13	ト書き	ト書き	12	11	10	9
サヴァ	サヴァ	サヴァ				サヴァ	サヴァ	サヴァ	サヴァ	サヴァ			???	サヴァ	サヴァ	???
これも、王様のおかげなのかしら？	ヘルフィヨトルでしたっけ？ ミストの隣国にこんなに 栄えた国があるなんて…	それにしても 立派な街並みですね。	※120年前なので、 魔導兵・魔導傀儡は登場しない			地下牢なんて絶対、入りたくないです！	あたし、ひなたぼっこができる窓と おいしいお魚を用意してくれないならー	はあ…あたしたちも 牢屋送りになっちゃうのかなあ。	どうやら地下牢に送られるみたいです。	兵士たちの話だと、あの子… …行っちゃった。		クリイデル、立ち絵ハケる。 サヴァ、立ち絵表示。	…	ずいぶん大勢の兵士に連行されてるわね。 あんなにか弱そうなのに…	あら？ あの子…	…
																クリイデル

					POP
	23 サヴァ	22 サヴァ	21 サヴァ	ト書き	サヴァ
あたしも後味悪いですから。	首がねられたら … 目前でご主人様の 首がねられたら	くれぐれも変なことを言って 王様を怒らせないで くださいねっ！	ご主人様の『かわいい猫』 として振る舞いますからー	※120年前なので、魔導兵・魔導傀儡は登場しない	

ADV	ID キャラ	セリフ	備考
			※背景「エインヘリヤル城郭」
	サヴァ ヘルフィヨトル王		
1	サヴァ (M)	（そしてご主人様とあたしは ヘルフィヨトル王の前に引き出された）	
2	サヴァ (M)	（智王と名高い王様…その鋭い眼光は まっすぐあたしたちに向けられてー）	
3	サヴァ (M)	（まるで心の内側まで覗かれているような 薄気味悪い心地に包まれた）	
4	ヘルフィヨトル王	ミストの私設騎士団とは関わりがない… そなたは、そう申すのだな？	
5	サヴァ	ええ、そうです！ ご主人様は常日頃から 周囲のヒトと関わりを持たないようにー	
6	サヴァ	…って、あたしが言ってもご主人様以外には ニヤアニヤアとしか聞こえないんだった。	
7	ヘルフィヨトル王	儂の前で沈黙することは…即ち 心の内にやましきものを抱えていること。	
8	ヘルフィヨトル王	たとえクラウドス家と繋がりがなくとも そなたはヘルフィヨトルの兵を認識した。	
9	ヘルフィヨトル王	儂の計画は確実に遂行せねばならぬ…	

		POP												
19	ト書き	サヴァ	18	ト書き	17	ト書き	16	ト書き	15	ト書き	14	ト書き	13	
サヴァ	ヘルフィヨトル兵	サヴァ	サヴァ	ヘルフィヨトル王	サヴァ	ヘルフィヨトル王	サヴァ	ヘルフィヨトル王	ヘルフィヨトル王	ヘルフィヨトル王	ヘルフィヨトル王	ヘルフィヨトル王	ヘルフィヨトル王	
ひなたぼっこできる窓と おいしいお魚があればー	※120年前なので、魔導兵・魔導傀儡は登場しない せて地下牢に		あたしがバカだったわ…はあ…	ご主人様の交渉力に少しでも期待しちゃった	それにしても、取り付くしもないまま 地下牢送りになっちゃうなんて…	異なる時の流れを持つてると気付いて…？	あの王様、未来から来たご主人様が	ヘルフィヨトル王、立ち絵ハケる。 サヴァ、立ち絵表示。	この者を地下牢に送るがよい。 後の処遇は追って伝えよう。	そなたの匂いは、周りの何者とも異なる。	そのふてぶてしい面構え、堂々たる態度 それに何より…	そなたには、まだ使い道がありそうだ。	ひい！	故に、この場で即刻首をはねるー

						POP		
25	24	23	22				21	20
サヴァ	サヴァ	サヴァ	サヴァ	ト書き	サヴァ		サヴァ	サヴァ
<p>出ないんですけどね！</p> <p>文字通り手も足も</p> <p>まあ地下牢に放り込まれたら</p>	<p>関わってるのかしら？</p> <p>やっぱり温情の聖杯が</p> <p>クラウス家が絡んでいるなら</p>	<p>いるんでしょうか？</p> <p>いったい何を企んで</p> <p>いるんでしょうか？</p>	<p>言ってますけど…</p> <p>『僕の計画』って</p> <p>そういえば、あの王様</p>	<p>ヘルファイヨトル兵</p> <p>※120年前なので、魔導兵・魔導傀儡は登場しない</p>		<p>痛い床の上で寝たら</p> <p>体のあちこちが</p> <p>痛くなっちゃいますからね！</p>	<p>あつ、それに干し草の</p> <p>フカフカのベッドも</p> <p>欠かせません！</p>	

ADV	ID	キャラ	セリフ	備考
	8	サヴァ	心配ねえ…… 顔色もよくないみたいだし	
	7	サヴァ	どこか体が悪いのかしら？ あの子、さつきの……	
	6	???	ゴホゴホッ！ コホッ、コホッ……！ はあ、はあ……	?? ル ?? ユリイテ
		ト書き	ユリイデル、立ち絵表示。	
	5	サヴァ	ひゃあ！？ な、何？ 今の声…… だ、だれがいるのかしら……？	
	4	???	コホッ、コホッ……！	?? ル ?? ユリイテ
	3	サヴァ	それにしても、すいぶん広い牢屋ですねえ。 全部地下にあるなんて信じられな——	
	2	サヴァ	覚えてなさい……あとで、あの顔を 引っ掻いてやるんだから！	
	1	サヴァ	いたた……あの兵士たち、あたしたちを 乱暴に牢屋へ放り込みましたよっ！	
		ト書き	SE：牢扉あける音 SE：牢扉しめる音 サヴァ、立ち絵表示	
		サヴァ ユリイデル		※背景「ヘルフィ ヨトル領の地下牢 獄」

					POP		
22	21	20	ト書き	サヴァ		19	18
サヴァ	サヴァ	サヴァ				サヴァ	サヴァ
頑張ってくださいーい！ もうひと踏ん張り	ほら、右と左と ついでに後方にも！	あと少しです！ ご主人様、モンスターも	※120年前なので、魔導兵・魔導傀儡は登場しない			教わったんですか？ そーゆー風に 以前、誰かに	誰かを助けなきゃ！って なると、意外と 頑固ですよねえ。

ADV	ID	キャラ	セリフ	備考
	9	ユリイデル	…サウェイラ、それがこの子の	
	8	ユリイデル	かわいい…	
	7	サヴァ	ふふっ、尻尾をふわふわ揺らして 何も出てこないんですからねっ♪ いえいえっ、そんなに褒めたって	
	6	サヴァ	かわいらしいお供、つてもしかして あたしのことっ…？	
	5	ユリイデル	かわいらしいお供を連れた方… あなたのお名前を聞いても…？	
		ト書き	ユリイデル、サヴァ、立ち絵表示。	
	4	ユリイデル	私の名は、ユリイデル… ヘルフィヨトルの外の生まれです。	
	3	???	…危ないところを助けていただき ありがとうございました。	
		ト書き	ユリイデル、立ち絵表示。	
	2	サヴァ	まあご主人様のことだから 楽勝で倒せると思っていましたけど！	
	1	サヴァ	ふう、モンスターは全部 追い払えたみたいですねっ。	
		ト書き	サヴァ、立ち絵表示。	
		サヴァ ユリイデル		

21	20	19	18	17	16		15	14	13	12	11		10
サヴァ (M)	ユリィデル	ユリィデル	ユリィデル	サヴァ	サヴァ	ト書き	ユリィデル	ユリィデル	サヴァ (M)	サヴァ (M)	サヴァ (M)	ト書き	サヴァ
(そう言って、彼女は少し寂しげに微笑んだ)	…私のような者が真王として目覚められるとは到底思えません…	至聖体は命を狙われやすいから人目を避けて過ごすように、と。	…この場所にいるのは、ヘルフィヨトル王のご意向なんです。	それに、こんな地下牢に閉じ込めらるなんて待遇が最悪だと思うわ！	うーん、なんだか胡散臭い話ねえ…	ユリィデル、サヴァ、立ち絵表示。	戦で故郷を追われた民の身柄を、この国で保護すると約束してくださいました。	…ヘルフィヨトル王は、私が真王として覚醒したあと彼に忠誠を誓えばー	それから…	(もう長いこと幽閉生活を送っていること。)	(真王候補である至聖体の一人として他国からヘルフィヨトルに連れてこられたこと)	ユリィデル、立ち絵表示。	そうなの。でも特別にサヴァって呼んでもいいわよっ。

お名前なのですね。

お名前なのですね。

お名前なのですね。

ユリィデル、立ち絵表示。

(そしてユリィデルは自分の境遇についてあたしたちに話してくれた)

(真王候補である至聖体の一人として他国からヘルフィヨトルに連れてこられたこと)

(もう長いこと幽閉生活を送っていること。)

…ヘルフィヨトル王は、私が真王として覚醒したあと彼に忠誠を誓えばー

戦で故郷を追われた民の身柄を、この国で保護すると約束してくださいました。

ト書き

ユリィデル、サヴァ、立ち絵表示。

16
サヴァ

うーん、なんだか胡散臭い話ねえ…

17
サヴァ

それに、こんな地下牢に閉じ込めらるなんて待遇が最悪だと思うわ！

18
ユリィデル

…この場所にいるのは、ヘルフィヨトル王のご意向なんです。

19
ユリィデル

至聖体は命を狙われやすいから人目を避けて過ごすように、と。

20
ユリィデル

…私のような者が真王として目覚められるとは到底思えません…

21
サヴァ (M)

(そう言って、彼女は少し寂しげに微笑んだ)

					POP							POP						
30	29	28	27				26	25	24				23					22
サヴァ	サヴァ	サヴァ	サヴァ ト書き	サヴァ			サヴァ	サヴァ	サヴァ ト書き	サヴァ			サヴァ (M)					サヴァ (M)
まあ、あたしは監視者として	感じているのかしら……？	彼女には、何か特別なものを	避けてきたご主人様 だけどー	今までずっと周りを	野良モンスター ※120年前なので、魔導兵・魔導傀儡は登場しない ご主人様もユリイデルが 気になってるみたい ですね。		ユリイデルって 見た目に反して 根性があると思うわ！	あたしだったら 数日でギブアップ しちゃいそう……	どうやらユリイデルは ここに長いこと幽閉されてる みたいですね。	野良モンスター ※120年前なので、魔導兵・魔導傀儡は登場しない		(この時のあたしは…… 欠片も想像すらしていなかった)					(ご主人様とユリイデル、二人の出会いが 世界の理を変える引き金となっていくなんて……)	

そばで見守るだけ
なんですけどね！

ADV	ID キャラ	セリフ	備考
1	サヴァ （M） ユリイテール	（地下牢で出会ったご主人様とユリイテール。二人は驚くほど自然に打ち解けていた）	
2	サヴァ （M）	（今まで、ご主人様は自分の任務のために周りのヒトとは極力関わりを持たなかったけど）	
3	サヴァ （M）	（ユリイテールとは、何か通じ合うものがあるのか彼女を避けようとはしなかった）	
	ト書き	ユリイテール、立ち絵表示。	
4	ユリイテール	コホッ、コホッ……ッ……すみません。お見苦しいところを……	
5	ユリイテール	私は生まれつき病弱で……思い切り走ることも戦うことも、ままなりません。	
6	ユリイテール	至聖体として選ばれたことはある意味、光栄に思いますが……	
7	ユリイテール	真王として目覚める以前にこの体が長くもつかどうか……	
	ト書き	ユリイテール、サヴァ、立ち絵表示。	
8	サヴァ	そうだったのね。生まれつき体が……	
9	ユリイテール	ですが、こんな風に誰かと言葉を交わすのは本当に久しぶりで……はしゃいでしまいました。	

20	サヴァ (M)	だんだんと仲良くなっていったご主人様
	ト書き	ユリイデル、立ち絵表示。
19	サヴァ	嫌気はしませんけど。 …まあ、こうして撫でられて
18	サヴァ	ふ、ふんっ！ 頭を撫でられたくらいじゃ あたしはコロッと靡きませんからねっ！
17	ユリイデル	お利口で、こんなにふわふわして… ふふっ…
	ト書き	ユリイデル、サヴァ、立ち絵距離近づく。
16	ユリイデル	あなたのお供…サヴァも、とても 賢そうな顔立ちをしていますね。
15	サヴァ	でも、そーゆーところが、ある意味 『ヒトらしい』のかもしれないねえ。
14	サヴァ	あたしもご主人様のお人好しで、困ったヒトを 助けようとするところに手を焼いてるんですね。
13	サヴァ	さ、さすが真王の候補…『異なる時間を 生きてきた』って、バッチリ当たってます。
	ト書き	ユリイデル、サヴァ、立ち絵表示。
12	ユリイデル	誰よりもヒトらしい心を持っている。 私を助けてくださったように。
11	ユリイデル	その身に帯びている気配が 周りの方とは、少し違うのに…
10	ユリイデル	あなたは、不思議な方ですね。異なる時間を 生きてきたかのように…
	ト書き	ユリイデル、立ち絵表示。

			POP						POP			
29	28	27	26	25	24	23	22	21				
サヴァ	ト書き サヴァ	サヴァ	サヴァ	ト書き サヴァ	サヴァ(M)	サヴァ(M)	サヴァ(M)	サヴァ(M)				
あら？	い野良モンスター※120年前なので、魔導兵・魔導傀儡は登場しない			い野良モンスター※120年前なので、魔導兵・魔導傀儡は登場しない ご主人様でも あんなに誰かに 心を許すんですねえ……	(当のご主人様はまったく気にする素振りを 見せず、彼女を守り続けた)	『至聖体の従者』と擲擧する兵士もいたけれど (ユリイデルを支えるご主人様の姿に お互いを信頼し合うようになっていった)	(地下牢で一緒の時間を過ごすうちに二人は お互いを信頼し合うようになっていった)	(もしかしたら、お互いにわからない 孤独があつたのかも……)				
	心地がよくなって つついりラックス しちゃんですよね。	彼女、撫でるのが とっても上手だからー	あたしもユリイデルの ことは嫌いじゃない ですよ。									

31	30		
サヴァ	サヴァ		
ヒトとも違う匂い… … いったい何かしら？	ご主人様 どうやら モンスターとは別の匂いが 近づいてます！		この匂いは… …

ADV	ID キャラ	セリフ	備考
9	メイセリス	ああ、ヘルフィヨトル王のこと？ 別にアイツがどう思っているようが関係ないよ。	
8	ユリイテール	ですが、ここに来ては また王からお叱りを受けるのでは……？	
7	ユリイテール	メイセリス様……またお会いできて 本当に嬉しく思います。	
	ト書き	エルフ王メイセリス、ユリイテール、立ち絵表示。	
6	メイセリス	今日はその続きから話してあげるよ。 退屈させないから、期待してて！	
5	メイセリス	えっと、この前はどこまで話したっけ……？ そうそう北方エルフの森についてだったね。	
4	メイセリス	ユリイ、遊びにきたよ！ 今日は調子がよさそうだね。	
	ト書き	エルフ王メイセリス、立ち絵表示。	
3	サヴァ（M）	（彼はユリイテールのことを とても気にかけている様子だった）	
2	サヴァ（M）	（姿は一見子どものもようだったけれど…… 纏う匂いはヒトのそれとは大いに異なる）	
1	サヴァ（M）	（その日、地下牢のユリイテールの元に 突然の来訪者が現れた）	
	サヴァ ユリイテール エルフ王メイセリス		

POP			
	20	サヴァ (M)	特別な関心を寄せているようだった(
	19	サヴァ (M)	(その原動力が好奇心なのか、情なのかはわからなかったけれど……)
	18	サヴァ (M)	(その後、わざわざ地下牢に足を運びユリイデルに会いにくるようになったらしい)
	17	サヴァ (M)	(聞けばエルフ王メイセリスは、数年前ヘルフィヨトル王との謁見の合間に彼女と出会い
		ト書き	エルフ王メイセリス、ユリイデル、立ち絵表示。
	16	サヴァ	それに、こーゆー押しが強くてグイグイ来るタイプあたしはちょっと苦手かも……
	15	サヴァ	な、なんか馬鹿にされてるような……
	14	メイセリス	それに妙なベツトまで連れてる！ふふっ、毛むくじゃらでキミにお似合いだ。
		ト書き	サヴァ、エルフ王メイセリス、立ち絵表示。
	13	メイセリス	ふうん……どうやらキミも、ユリイデルと同じように面白い力を持つてるみたいだね！
	12	メイセリス	……で、そっちのキミは誰？ ユリイデルの友達？
		ト書き	エルフ王メイセリス、立ち絵表示。
	11	メイセリス	何せ、人間はすっごく面白いからね！ キミたちのことをもっともっと知りたいんだ！
	10	メイセリス	ボクは、ボクがやりたいようにやるだけさ。 誰の指図も受けずに、心のままに。

29
メイセリス
キミも、ユリィと 同じくらい 興味深い人間だ！

ADV	ID キャラ	セリフ	備考
1	サヴァ (M)	(時は流れて、ユリィデールはまもなく二十歳を迎えようとしていた)	
2	サヴァ (M)	(至聖体である彼女にとって、それは真王として覚醒する期限を指している……)	
3	サヴァ (M)	(病弱なユリィデールが真王の力を得ることは極めて困難に思えたが――)	
	ト書き	背景：城（120年前のエインハリヤル城郭） ヘルフィヨトル王、立ち絵表示。	
4	ユリィデール	……お話とは、いったい何でしょうか？	
5	ヘルフィヨトル王	ユリィデールよ、そなたはもうじき二十歳の誕生日を迎える……	
6	ヘルフィヨトル王	儂は病弱なそなたを守るため、常日頃から危険を遠ざけて安全な環境を用意してきた。	
7	ユリィデール	……ご配慮に、感謝いたします。	
8	ユリィデール	ですが今の私では、到底真王として目覚めることは――	

9	ヘルフィヨトル王	このヘルフィヨトルには、太古より眠る幻獣の力の加護を授かる『継承の儀』が存在する。
10	ヘルフィヨトル王	幻獣はかつて異端の神を相手に戦った末このアウルニル山の底深くに封印されたという……
11	ヘルフィヨトル王	異端の神を退治するほどの崇高な力ならばそなたの体にも作用があるに違いない。
12	ヘルフィヨトル王	ユリイデルよ、真王に耐えつる『器』のためアウルニル山で『継承の儀』を果たすのだ。
13	ユリイデル	………
14	サヴァ	ユリイデルったら！ それで『行きます』って言っちゃうなんて！
15	サヴァ	あんな王様の言うことなんて…… 胡散臭いし、怪しすぎるわっ！
16	ユリイデル	……サヴァ、もしかして私の代わりに怒ってくれているのですが？
17	ユリイデル	ありがとう……あなたのご主人様に似てとても優しいんですね。
ト書き	ト書き	エルフ王、ユリイデル、サヴァ、立ち絵表示。
18	メイセリス	しかし王サマも無茶なことを言うものだね！ 大昔の幻獣の伝承に頼るなんて。
19	メイセリス	それにアウルニル山の『継承の儀』を果たすにはあの山を登って……

20	メイセリス	そのあと、更に地下まで降りなくちゃならない！ 面倒な上に、道のりも相当険しいだろう。
21	ユリイデル	…それでも、可能性が少しでもあるなら 試してみる価値はあると思うのです。
22	ユリイデル	このまま何も果たせず、病魔に命を 蝕まれていくくらいなら…
23	ユリイデル	私は己に進むことができる道を 自分の足で歩みたい…
ト書き		ユリイデル、立ち絵表示。
24	ユリイデル	ヘルフィヨトル王は、『継承の儀』のためなら 信頼できる者を同行させてよいと仰っていました。
25	ユリイデル	…あなたの力を、今一度 私にお貸しいただけますか？
ト書き		ユリイデル、サヴァ、立ち絵表示。
26	サヴァ	あくあ、また人助けですかあ。 ご主人様ならすぐに頷くってわかってましたよ。
27	サヴァ	…まあ、あたしもユリイデルのことは そんなに嫌いじゃありませんからね。
28	サヴァ	その『継承の儀』っていうやつ 付き合っただけありますよっ！
ト書き		エルフ王、ユリイデル、サヴァ、立ち絵表示。
29	メイセリス	ユリイのためならボクも手を貸してあげるよ！ 『継承の儀』にはボクも関心があるしー
30	メイセリス	そこの従者クンの働きぶりにも ちよっとだけ興味があるからね。
31	ユリイデル	おふたりとも…そして、サヴァも… ありがとうございます！

35	34	33	32
サヴァ (M)	サヴァ (M)	サヴァ (M)	ユリィ テール
(…：そう、信じていたのに――)	助けることができるかと信じていた…： (あたしもご主人様もユリィテールをきつと	(その時の彼女の目は力強く輝き 笑顔もとても生き生きしていた)	おふたりの気持ちに報いるためにも 『継承の儀』、必ず果たしてみせます…：！

ADV	ID キャラ	セリフ	備考
	サヴァ ユリイテール 幻獣（青龍）※幻獣たちの仮の姿はフードを被った子供みtainな感じ		
1	サヴァ（M）	（『継承の儀』を果たすためユリイテールとご主人様はアウルニル山へと旅立った）	
2	サヴァ（M）	（どうやら幻獣の加護を得るには『四門の試練』を突破しなければならずー）	
3	サヴァ（M）	（ユリイテールとご主人様はアウルニル山で4体の幻獣と対峙することになる………）	
	ト書き ト書き ト書き	画面、暗転（時間経過） 画面、明転	
4	白のピュエル	我は疾風の先駆け、白のピュエル……… 天翔ける風となりて混沌を吹き祓わん！	※幻獣（白のピュエル）の鳴き声を再生
5	黒のティアマト	我は巖の守護、黒のティアマト……… 堅牢な障壁となりて、悪しき混沌から主を守らん！ 光の従者、『四門の試練』の二番槍として そなたたちに大地の腕の試練を与えん！	※幻獣（黒のティアマト）の鳴き声を再生
6	赤のプロメア	我は紅蓮の撃剣、赤のプロメア！ 激しく燃え立つ烈火となりて、混沌を焼き祓わん！	※幻獣（赤のプロメア）の鳴き声を再生

15	青のオケアロス	この言葉は我らと真王を繋ぐ証……	
16	青のオケアロス	É g e r v i n u r V i n d u r	É g e r v i n u r E ス ィ ル ヴィ ル エ ヌ (我は友)
		o g j ö r ð L o g i o g v a t n i l l	V i n d u r o g j ö r ð L o g i o g v a t n i ス ィ ノ ド ウル コ ー
17	青のオケアロス	E i n h v e r s e m	E i n h v e r セ ム
		h e f u r á s t æ ð u : :	h e f u r オ ス ト ウ ヴ アー
18	青のオケアロス	ゆめゆめこの言葉を忘れぬよう。	ス ィ カ イ ハ マ ン シ グ ウ （ 炎 と 水 の 理 を 持 つ 者 な り ）
19	ユリィテール	はい、よく覚えておきます。	
20	サヴァ	うう、なんだか難しい呪文だったわ。 あたし、ちょっと怪しいかも……	
21	ユリィテール	この力は私のもではなく 支えてくれたサヴァやあなた……	
22	ユリィテール	そして命の灯を託してくださいました至聖体の みなさん、全てのヒトのものだと思います。	
23	ユリィテール	だからこそ、私は正しいことができる王に…… みなさんに報いる真王になりたい……！	
24	ユリィテール	まずはミスガルドへ戻ったら、ヘルフィヨトル王に お目通りを願おうと思います。	
ト書き		ユリィテール、サヴァ、立ち絵表示	

28 サヴァ	27 サヴァ	ト書き	26 サヴァ	25 クリイテール
ねっ、ご主人様♪ クリイテールが元気になって嬉しいです！	だけど、すっごく生き生きしてる。 顔色も今までと比べると見違えたわ！	サヴァ、立ち絵表示	クリイテールったら、ようやく継承の儀が 終わったのに早速働く気満々みたいねえ〜…	苦しむ民を助ける方法を共に考えたいと…

ADV	ID キャラ	セリフ	備考
1	サヴァ （M） ユリイデル	（アウルニル山で継承の儀を果たした ユリイデルは、ミスガルドへの帰路につく）	
2	サヴァ （M）	（その途中、彼女は『立ち寄りた場所がある』と ご主人様に告げた）	
3	サヴァ （M）	（そこはミスガルドの端に位置する見張り台。 街を一望できる高い塔の上だった）	
	ト書き	ユリイデル、立ち絵表示。	
4	ユリイデル	あなたとサヴァにはお礼を言わなくては… ありがとうございます。	
5	ユリイデル	王の元へ向かう前に…最後に… この塔から外の景色を見ておきたかったです。	
6	ユリイデル	陽の光とは、こんなに眩く美しいものだった なんて…：：：知りませんでした。	
	ト書き	ユリイデル、サヴァ、立ち絵表示。	
7	サヴァ	どこへ寄り道するから思えば… 陽の光なんて、これからいつでも見られるでしょ？	
8	サヴァ	ユリイデルは、このあとヘルフィヨトル王に 謁見して自由になるんですから！	
9	ユリイデル	そういえば、青のオケアロスから教わった呪文は 覚えていますか…：：？	

		POP	
21	サヴァ		ご主人様、見ました？
	ト書き		野良モンスター ※120年前なので、魔導兵・魔導傀儡は登場しない
	サヴァ		
20	ユリイテール		まだ漠然としたものなのですが… あなたには、いつか一番に聞いてほしいです。
19	ユリイテール		私自身の願いが、ようやく見つけられた気がするんです。
18	ユリイテール		真王の試練は大変でしたが… おかげで大切なものを得た気がします。
17	ユリイテール		あ、意外でした？ 私、こう見えて 意外と忘れっぽいです…ふふつ。
16	ユリイテール		ちゃんと覚えておかないと… あなたも、どうか覚えていてくださいね。
	ト書き		ユリイテール、立ち絵表示。
15	ユリイテール		『我は友。風と大地、炎と水の理を抱く者なり』 …という意味が込められているそうです。
14	ユリイテール		ふふつ、おまじないみたいな言葉ですよ。
13	サヴァ		うーん、難しい！ ご主人様、覚えました？
12	サヴァ		えっと、エステル…ヴィル又…
11	ユリイテール		そのあとが…そう『Einhversem hefur ástæðu』!
			og jörð Logi og vatn…
10	ユリイテール		『Éger vinur Vindur

								POP				
	28	27	26	25	24				23		22	
	サヴァ	サヴァ	サヴァ	ユリィデール	ユリィデール	ト書き	サヴァ	ユリィデール	サヴァ		サヴァ	
	あだしが保証するわ！ 良い感じよ。 …ううん、とっても	でも安心して。 ユリィデールの撫で方は 悪くないっていうかー	そうねえ… それは、あたしも同感。	サヴァとお話ができたら 撫で心地はどうか 聞くこともできるのに。	サヴァの言葉が わかればいいのに…	野良モンスター ※120年前なので、魔導兵・魔導傀儡は登場しない			ユリィデールの笑顔を見ている、あたしまで 嬉しくなっちゃいます！		もしかしたら本来の彼女は よく笑う子なのかも しませんね。	ユリィデールの 生き生きした顔！

ADV	ID キャラ	セリフ	備考
	サヴァ クリイテール ヘルフィヨトル王		
1	サヴァ (M)	(無事に継承の儀を果たして ヘルフィヨトル王に謁見したクリイテール)	
2	サヴァ (M)	(彼女は王に、他国を追われて 囚われの身となった罪なき民の解放と……)	
3	サヴァ (M)	(真王と智王、自分たちが協力して平和を築き 世界に広めていくことを提言した)	
	ト書き	ヘルフィヨトル王、立ち絵表示。	
4	ヘルフィヨトル王	真王の力は、我がヘルフィヨトルの安寧と繁栄の ために使う……そう契約したはずだが？	
5	ヘルフィヨトル王	そなたは儂との約束を反故にすると申すか。	
	ト書き	ヘルフィヨトル王、クリイテール、立ち絵表示。	
6	クリイテール	ご無礼をお許しください。ですがアウルニル山で 幻獣たちの試練を受ける中で……	
7	クリイテール	私は幻獣たちの言葉に触れて学んだのです。 ヒト同士の争いは根深く、いずれは破滅を導くと。	
8	クリイテール	止めるためには、各国の王が手を結び 争いの火種を消していかなければ――	
9	ヘルフィヨトル王	ああ、よくわかった。 そなたは身に余る力を入れた拳句……	

19	ユリイデール	きゃあああああアツ……!!!
	ト書き	効果背景（赤など）＋パチパチ閃光。 ※ユリイデールが操心術を受けてダメージ。
	ト書き	ヘルフィヨトル王立ち絵、 邪悪な波動を発射。
18	ヘルフィヨトル王	真王の卵、ユリイデールよ。
		そなたの心は、どれほどの強さかな……!?
17	ヘルフィヨトル王	時に自我を奪い、心を屠ることもできる。
16	ヘルフィヨトル王	儂の操心術は服従だけではない…… 相手のあらゆる知識や経験を掌握し――
		教えてやろう。
15	ヘルフィヨトル王	ククッ、最後に儂が智王と呼ばれる所以を
		教えてやろう。
14	ユリイデール	っ!? この魔力…… まさか、あなたは………
13	ヘルフィヨトル王	反抗の芽は早々に摘み取るに限る。
	ト書き	ヘルフィヨトル王立ち絵、邪悪なオーラをまとう。
		見すぎたようだな。
12	ヘルフィヨトル王	ユリイデールよ、そなたは要らぬ景色を
	ト書き	ヘルフィヨトル王、立ち絵表示。
11	ユリイデール	反抗だなんて……! 私はヘルフィヨトルを含めた全ての国の民が――
10	ヘルフィヨトル王	他でもない、この儂に反抗し あるうことが指図をした……そうだな？

			POP					POP								
	26		25		24		23		22		21	20				
	ヘルフィヨトル王		ヘルフィヨトル王	ト書き	ヘルフィヨトル王		ヘルフィヨトル王		ヘルフィヨトル王	ト書き	ヘルフィヨトル王	サヴァ	サヴァ	ト書き		
雑兵よりも役に立たぬ。	小娘の理想論など	我がヘルフィヨトルの 永代までの繁栄……	我がヘルフィヨトルの 僕の望みは	ヘルフィヨトル兵 ※120年前なので、 魔導兵・魔導傀儡は登場しない			忠実な駒として 僕に仕え続けるのだ。	全ては王の意のまま……	そして今後も僕のために 力を振るい続ける。	弱き従者よ……	ククッ、安心しろ。	ヘルフィヨトル兵 ※120年前なので、 魔導兵・魔導傀儡は登場しない	このままじゃユリイデールの心が 壊されちゃいます……！！ 急いで！！	ご主人様！ 早く助けないと！！	ユリイデール！！	サヴァ、立ち絵表示。

						POP		
31	30	29					28	27
サヴァ	サヴァ	サヴァ	ト書き	サヴァ			ヘルフィヨトル王	ヘルフィヨトル王
ユリィデール！ 返事をしてよ… ユリィデール！！	彼女がいったい何を したっていうの！？ こんなあんまりです！！	兵士の数が多すぎて 全然ユリィデールに 近づけない…！！	ヘルフィヨトル兵 ※120年前なので、 魔導兵・魔導傀儡は登場しない				農の操心術をもってすれば 心が痛むこともない。 感謝するがよい…	そなたは我が国の生ける 支柱となってもらおうぞ。

ADV	ID	キャラ	セリフ	備考
	10	サヴァ	まるでお人形みたい…… ちゃんと生きてるのに、生きてないみたい……	
	9	ユリイデル	………	
	8	サヴァ	ねえ……ユリイデル………	
	7	サヴァ	ねえ、また『サヴァ』って呼んでよ…… いつもみたいに上手に撫でてよ……	
	6	ユリイデル	………	
	5	サヴァ	……ユリイデル？ どうしたの？ あたしたちの声、聞こえないの……？	
	4	ユリイデル	………	
	3	サヴァ	ユリイデル！ 大丈夫！？ 体は何ともない！？	
		ト書き	ユリイデル、サヴァ、立ち絵表示。	
	2	サヴァ (M)	（しばらくして、ユリイデルも兵士たちと共に地下牢へ戻ってきたけれどー）	
	1	サヴァ (M)	（結局、ご主人様とあたしはヘルフィヨトル王の命令で為す術なく地下牢に放り込まれた）	
		サヴァ ユリイデル		

				POP											
21	20	19	ト書き	サヴァ		18	17	16	15	ト書き	14	13	12	11	
サヴァ	サヴァ	サヴァ				サヴァ (M)	サヴァ (M)	サヴァ (M)	ユリイデル		サヴァ	サヴァ	サヴァ	サヴァ	サヴァ
あの状態のまま 真王として覚醒したら…	あんなお人形みたいな姿 あたし見てられません！	ご主人様… ユリイデルを助ける方法はないんでしょうか。	ヘルフィヨトル兵 ※120年前なので、魔導兵・魔導傀儡は登場しない			(その姿はとても綺麗で… 途方もなく悲しいものだった)	(何を尋ねても、返ってくる言葉はない。 何を見せても、控えめな笑顔は浮かばない)	(ヘルフィヨトル王の操心術を受けた ユリイデルは、まるで物言わぬお人形に見えた)	だけど、ユリイデルは… もっともつと痛くて辛いはず…	ユリイデル、サヴァ、立ち絵表示。	あだし、苦しいです… 胸の奥がすくきりきりしてます…	どうして平和な世界を望んだだけで こんな酷い目に遭わなきゃいけないの…？	ユリイデルって何か悪いことをしました？ 誰かを傷つけるようなことをしました？	ご主人様、あだし…：わかんないです。	

									POP	
	25		24		23					22
	サヴァ		サヴァ		サヴァ	ト書き		サヴァ		サヴァ
	許せないっ！ 絶対に許せないわっ！！	なんてヤツなの…！！	閉じ込めてたんだわ。	きつと最初から利用する つもりで、地下牢に	駒としか思っていない。	ヘルフィヨトル王は ユリイデールのことを	※120年前なので、 魔導兵・魔導傀儡は登場しない			それこそユリイデールが 壊れちゃいます！

ADV	ID	キャラ	セリフ	備考
		サヴァ ユリイデール ヘルフィヨトル王		
	1	サヴァ (M)	(ヘルフィヨトル王の操心術を受けて 自由を奪われたユリイデール)	
	2	サヴァ (M)	(彼女は物言わぬ人形も同然の状態だったけれど その体には徐々に異変が生じていた)	
	3	サヴァ (M)	(抑えられたと思っていた病魔が再び 彼女を蝕み始めたのだ)	
	4	サヴァ (M)	(まるでユリイデールの内なる悲鳴を 代弁するかのように病状は悪化していく……)	
	5	サヴァ (M)	(そんなある日のこと、何の前触れもなく ヘルフィヨトル王が地下牢に現れた)	
	6	ト書き	ヘルフィヨトル王、立ち絵表示。	
	6	ヘルフィヨトル王	従者よ……そなたに問おう。	
	7	ヘルフィヨトル王	そなたは主のユリイデールを救いたいと願うか？	
	7	ト書き	その願いを叶えるチャンスを与えてやろう。	
	8	ト書き	サヴァ、立ち絵表示。	
	8	サヴァ	彼女を苦しめてる張本人が 今さら、いったい何のつもりかしら……	

9	サヴァ	何かの震かもしれないわ。 ご主人様、気を付けてくださいね！
10	ヘルフィヨトル王	見ての通り、彼女の肉体は劣化の一途を辿っている。
11	ヘルフィヨトル王	このままでは真王の覚醒どころか、心を解放したところでもつかどうか……
12	ヘルフィヨトル王	だが、問題を解決する手立てはある。
13	ヘルフィヨトル王	……ミスト領の私設騎士団クラウドス家に保管されている『温情の聖杯』を、そなたも知っているな？
14	ヘルフィヨトル王	七つに分かれた墮天使シファアの魂……その欠片が宿っているとされる遺物のひとつ。
15	ヘルフィヨトル王	中でも『温情の聖杯』は万能の治癒の力を備えているという……
16	ヘルフィヨトル王	『温情の聖杯』を用いれば、ユリイデルを救うことができるかもしれない。
17	ヘルフィヨトル王	主のために、クラウドス家から聖杯を持ってくる……そなたには出来るか？
18	ユリイデル	……
19	サヴァ (M)	(ご主人様は拳をきつく握り締めてユリイデルを見つめていた)
	ト書き	ヘルフィヨトル王、ユリイデル、立ち絵表示。

			POP						POP	
26	25	24	23	22	21	20				20
ヘルフィヨトル王	ヘルフィヨトル王	ヘルフィヨトル王	ユリイデル	ヘルフィヨトル王	ヘルフィヨトル王	サヴァ (M)				
ククツ、皆まで言わずとも よいだろう。 健闘を祈っているぞ。	刻限までに温情の聖杯を 持ち帰らなければ――	従者よ、そなたには 三日の猶予と自由を 与えよう。	………	そなたは良き従者を 持ったな。	継承の儀を共に乗り越えた 従者の鑑よ……	(そして長い長い沈黙のあと…… ヘルフィヨトル王にハッキリと頷いたのだった)				
		ト書き		ヘルフィヨトル王	ト書き					
		※120年前なので、魔導兵・魔導傀儡は登場しない			※120年前なので、魔導兵・魔導傀儡は登場しない					

ADV	ID キャラ	セリフ	備考
	10 サヴァ	それがあたしの役目だし……ご主人様は危なっかしいから、ちゃんと見てないと！	
	9 サヴァ	離れませんか安心してください！ 少なくとも、ご主人様のそばは	
	8 サヴァ	うーん、あたしもどうすればいいかわからないなあ……	
	7 サヴァ	ご主人様が悪者になるのもなんか嫌だなんて思っちゃいます……	
	6 サヴァ	もちろんあたしだってユリイテールは助けたいし放ってはおけないけどー	
	5 サヴァ	このままじゃ、ご主人様自身が聖杯を盗んだ犯人になっちゃいますよ……？	
	4 サヴァ	元々、ご主人様は『温情の聖杯』を監視するために未来から飛んできたのに……	
	3 サヴァ	……いいんですか、ご主人様？	
	ト書き	サヴァ、立ち絵表示。	
	2 サヴァ (M)	(ルシファー遺物に関わることは今まで極力避け続けてきたご主人様だけど……)	
	1 サヴァ (M)	(ユリイテールを救うために、クラウドス家から『温情の聖杯』を盗むことになったご主人様)	
	サヴァ		

					POP							POP	
18	17	16	15			14	13	12					11
サヴァ	サヴァ	サヴァ	サヴァ	ト書き	サヴァ	サヴァ	サヴァ	サヴァ	ト書き	サヴァ			サヴァ
誰の目にも触れずに 聖杯を盗みましょう！	ささっと侵入して	あたしたちの目的は 聖杯であって、争いじゃ ないんですから――	まさか何の考えもなしに 乗り込む気じゃ ありませんよね？	野良モンスター ※120年前なので、魔導兵・魔導傀儡は登場しない ……で、ご主人様。 クラウス邸にはどうやって 忍び込むんですか？		あのヘルフィヨトル王の ことだから、それぐらいは やりそうです……	あたしたちのこと 遠くから監視しているの かもしれませんね。	ヘルフィヨトル兵の姿が 見えないけど……	野良モンスター ※120年前なので、魔導兵・魔導傀儡は登場しない				温情の聖杯を盗むにしても、何とかして クリイデルを助けられる方法を探りましょう！

		ADV	ID	キャラ	セリフ	備考
10	サヴァ				聖杯を見つけたら、普通の杯と	
9	サヴァ				それに祝い事で油断するのは あたしたちには好都合です！	
8	サヴァ				も、もちろん今は任務に集中です！ お魚なんて気になりませんよっ！	
7	サヴァ				遠くの方から浮かれた声が 聞こえてきます。それに食べ物の匂いもー	
6	サヴァ				……どうやら私設騎士団のヒトたちは 戦勝記念のパーティーをやってるみたいね。	
	ト書き				サヴァ、立ち絵表示。	
5	サヴァ (M)				(あたしとご主人様は息を殺してクラウド邸の 内部に侵入し、温情の聖杯を探す………)	
4	サヴァ (M)				(そんな戦いに秀でた集団と一戦を交えるのは 得策とは到底呼べない)	
3	サヴァ (M)				(噂ではミスト領の王族からも 熱烈なスカウトが来ているとか……)	
2	サヴァ (M)				(私設騎士団を擁するクラウドス家は 度重なる戦いでめざましい活躍を続けてー)	
1	サヴァ (M)				(グリーズ平原とフォルフォート平原を越えて ようやくクラウドス邸に辿りついたご主人様)	
	サヴァ					

			POP				POP			
19 サヴァ	18 サヴァ	17 サヴァ	ト書き	16 サヴァ	15 サヴァ	14 サヴァ	ト書き	13 サヴァ	12 サヴァ	11 サヴァ
開きました！	あたし自慢の爪で立派な鍵をこうして……っと！	ご主人様！このキャビネットの奥が怪しいです……！	野良モンスター※120年前なので、魔導兵・魔導傀儡は登場しない	くんくんくんくん……	でもどこに隠してあってもあたしの鼻で嗅ぎ当ててみせますっ！	ルシファアの魂が宿った遺物……きつと嚴重に保管してるに違いないわ！	野良モンスター※120年前なので、魔導兵・魔導傀儡は登場しない	さあ、早く温情の聖杯を探しましょう！	ふふん、どうです？なかなか良い作戦だと思いませんか？	クラウス家のヒトたちが偽物と気付いた時にはあたしたちは遠くにおさらば！って寸法です。

	20	
	サヴァ	
さっさと逃げましょう！	よし、聖杯を拝借して	大当たり〜！ 温情の聖杯を発見！！

ADV	ID	キャラ	セリフ	備考
	8	クラウド家の当主	今までルシファ―遺物を狙った侵入者は数あれど これほど敵意を感じない盗人は初めてだ。	
	7	クラウド家の当主	本来であれば騎士団長として、クラウド家の 当主として厳罰に処すべきところだが…	
	6	???	今日は、戦勝記念の無礼講とはいえ 我が屋敷に堂々と忍び込むのは感心しないな。	
	5	サヴァ	つ!!!? 大変、見つかった…!!	
	4	???	そこにいるのは何者だ。	
	3	ト書き サヴァ (M)	クラウド家の当主 (マグニスの曾祖父・私設騎士団の団長) 立ち絵表示。 ※立ち絵は当主っぽいシルエット (ロビトルイメーシ)	
	2	サヴァ (M)	(聖杯を拝借し、あたしたちはすぐに その場から逃げようとした)	
	1	サヴァ (M)	(私設騎士団のクラウド邸で何とか 温情の聖杯を発見したご主人様)	
		サヴァ クラウド家の当主 (マグニスの曾 祖父・私設騎士団 の団長)		
		ト書き	クラウド家の当主、サヴァ、 立ち絵表示。	

19	クラウド家の当主	しかし我々騎士団が歩みを止めることはない。
18	クラウド家の当主	真っ只中にいる。
17	サヴァ	ええっ！？ 見逃してくれるの！？ どという風の吹き回しかしら？
	ト書き	クラウド家の当主、サヴァ、立ち絵表示。
16	クラウド家の当主	私の気が変わらぬうちにな。
15	クラウド家の当主	その聖杯で、助けたい者がいるのならー
14	クラウド家の当主	……もしかすると、これも運命の 巡り合わせというものなのかもしれないな。
13	クラウド家の当主	必然であったようにすら思える。
12	クラウド家の当主	お前と今ここで相まみえたことは それに、何よりー
	ト書き	クラウド家の当主、立ち絵表示。
11	クラウド家の当主	ふむ、猫を連れた盗人とは ますます変わっているな。
10	サヴァ	よ、寄りにもよってクラウド家の当主と 鉢合わせちゃうなんて……！
9	クラウド家の当主	お前は何故、ルシファー遺物を？ ……名も知らぬ盗人よ。

					POP		
25	24	23	ト書き	サヴァ		22	21
サヴァ	サヴァ	サヴァ				メイセリス	メイセリス
彼に任せて、急いで コリィテールを助けてしまよ！	コリィテールを 助けたい気持ちは 本物みたいですね。	エルフ王って なんだか生意気で いけ好かないけど…	※野良モンスター ※120年前なので、魔導兵・魔導傀儡は登場しない			できるだけ早く コリィを助け出さんだ！ いいね？	さすがのボクでも 彼を抑えておける時間は 限られてるからー

ADV	ID	キャラ	セリフ	備考
	10	ユリィテール	……サヴァ、あなたは…… …… …… とっても可愛い声を、していたんですね……	
	9	サヴァ	さあ、一緒に逃げましょう！ ヘルフィヨトル王が気付かないうちに……！	
	8	ユリィテール	っ……今の、声は……	
	7	サヴァ	ユリィテール！！ もう大丈夫！ あたしたちが迎えに来たわ！	
	6	ユリィテール	ト書き ※サヴァがユリィテールのもとに駆けつけるイメージ。	
	5	ユリィテール	言葉を……発することも…… 息を吸って、吐くことも、ままならないなんて……	
	4	ユリィテール	よう、やく……操心術の檻から…… 抜け出せたと、思ったら……	
	3	サヴァ (M)	ト書き ユリィテール、立ち絵表示。	
	2	サヴァ (M)	くっ……うっ…… （エルフ王メイセリスがヘルフィヨトル王の 気を逸らしている隙に、急がないと……！） （だけど、ユリィテールの様子はー）	
	1	サヴァ (M)	（ユリィテールを助け出すために 地下牢へと駆けつけたご主人様）	
		サヴァ エルフ王メイセリス ユリィテール		

23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11
ユリイテール	ユリイテール	ユリイテール	サヴァ	サヴァ	サヴァ	サヴァ	ユリイテール	ユリイテール	ユリイテール	サヴァ	ユリイテール	ユリイテール
っ……この、感覚……	うっ……はあ、はあ……	ユリイテール、立ち絵表示。 SE：心音ドクン	サヴァ……	あ、あ……それに、もっと……	あ、あ……それに、もっと……	あ、あ……それに、もっと……	あ、あ……それに、もっと……	あ、あ……それに、もっと……	あ、あ……それに、もっと……	あ、あ……それに、もっと……	あ、あ……それに、もっと……	あ、あ……それに、もっと……

			POP				POP			
31	30		29	28	27	26	25	24		
サヴァ	サヴァ	ト書き サヴァ ユリイテール	サヴァ	サヴァ	サヴァ	ト書き ユリイテール サヴァ ユリイテール	サヴァ	サヴァ	ト書き サヴァ	
もうひと踏ん張りですよ！	ご主人様、あと見えてきました……！	ヘルファイヨトル兵 ※120年前なので、魔導兵・魔導傀儡は登場しない ふう、やっと出口が	ご主人様！ ここは一気に突破しましょう！	兵士が次から次へと押し寄せてきて キリがない！	早くユリイテールに 温情の聖杯の力を 使ってあげたいけど……	ううっ…… 私は……私は……	ご主人様！ とにかく今は 彼女をここから連れ出しましょう……！	どうしたの、ユリイテール！ 苦しいの……？ 大丈夫……？	ユリイテール、サヴァ、立ち絵表示。	もう、私は囚われたく、ないのに………

34	33	32	
サヴァ	クリイ テール	サヴァ	
どう、 したの……？	クリイ テール……？	クリイ テールも！ あともう少しの 辛抱です……！	

	ADV	ID	キャラ	セリフ	備考
9			ユリイテール？	ぐうううううう…	
8			ユリイテール？	儂の目を欺けると思ったか…？ 愚かしい者共め…！！	
7			ユリイテール	ふふふふふふ…	
			ト書き	ユリイテール、立ち絵表示。	
6			ユリイテール	…っ…ふ…ふ…	
5			サヴァ	どうしたの、ユリイテール？ 大丈夫？	
			ト書き	ユリイテール、サヴァ、立ち絵表示。	
4			ユリイテール	…	
			ト書き	ユリイテール、立ち絵表示。	
3			サヴァ (M)	(だけど、その最中。 ユリイテールの様子に異変が生じてー)	
2			サヴァ (M)	(このままヘルフィヨトル領に留まるのは危険と 判断して、二人はミスト領を目指すことに…)	
1			サヴァ (M)	(兵士たちの追っ手を振り払い、ようやく 首都ミスガルドから抜け出したご主人様たち)	
			サヴァ ユリイテール ヘルフィヨトル王		

POP														
	17	16	15		14	13	12	11		10				
	ユリイデール	サヴァ	サヴァ	ト書き	ヘルフィヨトル王	ヘルフィヨトル王	ヘルフィヨトル王	ヘルフィヨトル王	ト書き	サヴァ	ト書き	ト書き		
	ああ、あああああ…… ぐあああああああ……ッ！！！！	ご主人様……ユリイデールの攻撃が来ます！！ 構えてくださいッ！！	ユリイデール……！！ そんな……こんなことって……	SE：魔力チャージ ユリイデールの周りに邪悪なオーラ出現。	すぐに討ち取られては記録に残せぬからな。 せいぜい奮って主の相手をするがいい……！！	ククククッ、忠実な従者はどうする？	枷が外れ、果たしてどのような反応を見せるか。	くだらぬ理性で押さえつけていた真王の力…… 我が力で小娘の自我を崩壊させたまで。	ハルフィヨトル王の思念がユリイデールを操っている。	ユリイデール！？ な、なんなの！？ 彼女に何が……！！	SE：禍々しい呪印（のようなもの） ユリイデールが自我失い暴走。 眼が赤く爛々と光っているイメージ	ユリイデール立ち絵から邪悪なオーラ発生。 SE：禍々しい呪印（のようなもの）		あああああ……ッ！！！！

			POP					POP					
	25			24	23	22			21	20	19	18	
	ヘルフィヨトル王 ト書き	エルフ王メイセリ	ヘルフィヨトル王	サヴァ	サヴァ	ユリイデル ト書き	サヴァ ユリイデル		サヴァ	サヴァ	サヴァ	サヴァ ト書き	サヴァ
無駄な足掻きも	(新) ユリイデル・自我暴走(終盤) クククッ、哀れな従者よ。			でもヘルフィヨトル王の 力に縛られたままじゃ…… いったいどうすれば……	ユリイデルだって本当は ご主人様と戦いたく ないはずです！	あああああーっ！！ ううううう……	(新) ユリイデル・自我暴走(中盤)		そんなの認めない…… 認めたくありませんっ！	崩壊してしまったの……？ 本当に、自我が	……だめです。 あたしたちの声が まったく届かない……！	ユリイデル！ しっかりして ユリイデル……！	(新) ユリイデル・自我暴走(序盤)

29	28	27	26	
メイセリス	ヘルフィヨトル王	メイセリス	???	
長生きはしてないからね。 もらっちゃ困る。伊達「 ふっ、エルフ王を甘く見て	我が城で捕らえた はずでは…	王さま、キミには 早々にご退願おう。	そうだね。ホクも 高みの見物は 嫌いじゃないけどー	いつまでもつか…

ADV	ID キャラ	セリフ	備考
	7	メイセリス	…王さま、キミは実にヒトらしいよ。
	6	サヴァ	ひどい、ひどすぎるっ！！ どうしてそんなことができるの…！？
	5	サヴァ	そんな…そんなくだらない理由で ユリイデールの自我を崩壊させたの！？
		ト書き	エルフ王メイセリス、サヴァ、立ち絵表示。
	4	ヘルフィヨトル王	全ては儂に逆らった罰… 哀れで愚かな王の末路よ…！
	3	ヘルフィヨトル王	命あるものを喰らい続け、魂の炎が 燃え尽きるまで、獣のように荒れ狂うだろう。
	2	ヘルフィヨトル王	ククツ、何をしても無駄だ。 真王の暴走は止められぬ。
	1	ユリイデール	うううううう… あああああああああ…
		ト書き	ユリイデール（自我失い暴走）とヘルフィヨトル王。 ※ヘルフィヨトル王の思念がユリイデールを操っているイメージ。
			サヴァ ユリイデール（ 自我失い暴走） ※眼が赤く爛々と 光っているイメー ジ エルフ王メイセリ ス ヘルフィヨトル王

		POP		
18	メイセリス		15	メイセリス
その間に従者クンは ユリイ本体を 抑え込むんだ！			14	メイセリス
17	メイセリス		13	メイセリス
いいかい、ボクが王サマの 魔力回路を絶つ……			12	メイセリス
16	メイセリス		11	メイセリス
今のユリイは、王サマの 魔力で暴走を 誘発させられている。			10	メイセリス
ト書き			ト書き	
	エルフ王メイセリス			
				9
				メイセリス
				理想を掲げ、知力と策略で民を支配し 真王に羨望と恐怖を抱き、陥れた……
				力に溺れた者のあるべき姿。 欲望と野心に燃える人間らしい選択さ。
				エルフ王メイセリス、立ち絵表示。
				ただど今は、それが憎らしい。
				長年生きてきたけど、こんなドロドロした感情を 持つのは初めてさ。
				エルフとして、本来は持つべきもの じゃないのかもしれない。
				だけどボクは、もう過去の自分には戻れない。
				ボクはユリイに興味を持ってしまった。 愛着を抱いてしまったからね。
				だから王サマ、ユリイは返してもらおうよ。 キミの返事なんて、関係なくね！

				POP															POP
26	25	24	ト書き	サヴァ ユリイデール ヘルフィヨトル王		23	22	21	20	19	ト書き	ス エルフ王メイセリ ヘルフィヨトル王							
ユリイデール	サヴァ	サヴァ	ユリイデール・暴走（終盤）			メイセリス	メイセリス	ヘルフィヨトル王	ヘルフィヨトル王	ヘルフィヨトル王	ユリイデール・暴走（中盤）								
あ あ あ……… ぐ う……… う う………	ユリイデール！ あ た し た ち の 声 が 聞 こ え て る ………！！ ？	止 ま り か け て い る ……… ？				そ れ が ヒ ト の 命 の ……… 在 り 方 つ て や つ た ら ？	だ と し て も 死 に 様 を 選 ぶ 権 利 は ユ リ イ に あ る。	機 能 し て い る も 同 然 な の だ か ら な ー	取 り 戻 し た と こ ろ で 長 く は も つ ま い。	小 癪 な 真 似 を ………									

	29	28	27
	ヘルフィヨトル王	ヘルフィヨトル王	ヘルフィヨトル王
必ず、な………	返すとしよう……… この借りは必ず	邪魔をすることは……… この儂の、智王の 忌々しいエルフ王め………	薄らいている、だと……… 儂の魔力が………

ADV	ID	キャラ	セリフ	備考
	6	サヴァ	……とっっても苦しそう。 こんな風になるまで戦わせられるなんて……	
	5	サヴァ	ユリイデル……！ 大丈夫！？	
		ト書き	サヴァ、立ち絵表示。	
	4	サヴァ (M)	(その呼吸はとても弱々しく 青白い顔色はまるで死人のようだった)	
	3	サヴァ (M)	(彼女は一時的に気を失い 力の暴走は収まったかのように見えたけれど)	
	2	サヴァ (M)	(ヘルフィヨトル王の邪悪な影が消え去り その場に倒れ込むユリイデル)	
		ト書き	ユリイデル (通常)、立ち絵、表示。 SE：その場に倒れる	
		ト書き	ユリイデル (通常)、立ち絵、表示。 ※立ち絵周囲には禍々しいオーラ。	
	1	ユリイデル	う……うう……	
		ト書き	ユリイデル (自我失い暴走)、立ち絵、表示。 ※立ち絵周囲には禍々しいオーラ。	
		サヴァ ユリイデル ユリイデル ユリイデル (自我失い暴走) ※眼が赤く爛々と光っているイメー シ ス エルフ王メイセリス		
		ト書き	ユリイデル (自我失い暴走)、立ち絵、表示。 ※立ち絵周囲には禍々しいオーラ。	
		ト書き	エルフ王メイセリス、サヴァ、立ち絵表示。	

7	メイセリス	力の暴走は誰よりもユリイ本人に 相当な負荷を与える。
8	メイセリス	況してや、あの王サマの操心術を受けた状態じゃ 肉体が受けるダメージは………
	ト書き	SE：兵士たちの足音
9	サヴァ	ご主人様！ 大勢の足音がこっちに 近づいてきます！！
10	サヴァ	この匂い、ヘルフィヨトルの兵士たちだわ！ あたしたちを追ってきたのね………！！
11	メイセリス	ふう……さすがヘルフィヨトルの智王。 念入りに策を講じているみたいだね。
	ト書き	エルフ王メイセリス、立ち絵表示。
12	メイセリス	従者クン、キミはユリイをつれて ミスト領のナヤシユナ遺跡へ向かうんだ。
13	メイセリス	あの遺跡は太古の霊気が集まりやすい。 温情の聖杯の魔力も十分に引き出せるはず……
	ト書き	エルフ王メイセリス、サヴァ、立ち絵表示。
14	サヴァ	そ、そうだわ！ 聖杯の力を使えば ユリイデルを癒すこともできるはず！
15	メイセリス	追っ手の兵士たちはボクが相手をする。 さあ、急ぐんだ！
16	サヴァ	行きましょう、ご主人様！ ユリイデルを助けなくちゃ………！！
	ト書き	画面・暗転。
	ト書き	SE：足音（主人公がユリイデル連れて去る） 画面・明転。
	ト書き	エルフ王メイセリス、立ち絵表示。

23	22	21	20	19	18	17
サヴァ (M)	サヴァ (M)	メイセリス	メイセリス	メイセリス	メイセリス	メイセリス
<p>(『ユリィテールを助けたい』…… ただそれだけを考えながらー)</p>	<p>(そして、ご主人様はユリィテールを連れて ミスト領のナヤシュナ遺跡を目指した)</p>	<p>人間の王に、この世界は任せられないのかなあ やっばり………</p>	<p>もし、これでユリィを助けられなかったら……</p>	<p>こんなの、全然ボクらしくないなあ…… だけど、もしー</p>	<p>なのに、一時の感情で誰かを救おうと するなんてね……我ながら馬鹿げてる。</p>	<p>………千年以上も生きていれば どうせ周りの人間はみんな死ぬ。</p>

ADV	ID	キャラ	セリフ	備考
	10	ユリイデル	それに……また、いつヘルフィヨトル王に意識を奪われるか……わかりません……	
	9	ユリイデル	っ……どうやら、この体も…… そろそろ限界が近い、ようです……	
	8	サヴァ	ううっ、よかったあ……！ でもユリイデル、呼吸が苦しそう……	
	7	ユリイデル	サヴァにも、あなたにも…… 心配をかけて、ごめんなさい。	
	6	ユリイデル	……ええ、っ……もちろん、です……	
	5	サヴァ	気が付いたのね、ユリイデル！！ あたしたちのことがわかる……！？	
	4	ユリイデル	う、っ……はあ……はあ……	
	3	サヴァ (M)	ユリイデル、立ち絵表示。 (そして精鋭たちが背後に迫る中 ついにユリイデルが意識を取り戻して……)	
	2	サヴァ (M)	（彼女の命と温情の聖杯を奪うべく 新たに、自軍の精鋭を送り込んだ）	
	1	サヴァ (M)	（ヘルフィヨトル王は、ユリイデルの存在が 自らの手に余ると判断するや否やー）	
		サヴァ ユリイデル		

22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	
サヴァ (M)	サヴァ (M)	サヴァ (M)	サヴァ (M)	ユリイデール	ユリイデール	ユリイデール	サヴァ	サヴァ	ユリイデール	ユリイデール	ユリイデール	
叶えるために――)	(大切なユリイデールの、最期の願いを	(そして、ご主人様は静かに頷く)	(悲しみと憤りを胸の奥に押し込めた そんな表情を浮かべながら……)	(ご主人様は黙ったまま まっすぐユリイデールを見つめていた)	力を……貸していただけですか……？	あなたたちの想いに報いるために 私も、あと少しだけ頑張りたいのです……	……ありがとう、サヴァ…… 私のことを想ってくれて。	それは命よりも大事なことなの……？ あたしには、わかりません……	ユリイデール……こんなポロポロなのに まだ何かを頑張るっていうの？	ルシファー遺物に宿った魂を 王の手の届かない場所へ、隠さなければ……！	私の心が、壊れる前に…… 温情の聖杯を………	ですが、まだ……私にできることはありません。 いえ、やり遂げなければならない、ことが……

ADV	ID キャラ	セリフ	備考
1	サヴァ ユリイデル	(息絶え絶えなユリイデルを支えながら ご主人様はミストの地を進んでいく)	
2	サヴァ (M)	(時に、野生のモンスターを蹴散らし 時に、追っ手の兵士たちを退けながら……)	
3	サヴァ (M)	(ただひたすら前を見つめるユリイデルを すぐ横で見守りながら……)	
4	サヴァ (M)	(そしてご主人様とユリイデルが ようやくナヤジユナ遺跡に辿りついた時――)	
5	サヴァ (M)	(ユリイデルの命の灯は もはや限界に近い状態だった)	
6	サヴァ ト書き	はあ、はあ……ようやくナヤジユナ遺跡に 到着しました…… サヴァ、立ち絵表示。	
7	サヴァ	ご主人様、もう一刻の猶予もありません！	
8	サヴァ	早くユリイデルに温情の聖杯を……！ 彼女の体を治してあげなきゃ！	
9	サヴァ ト書き ト書き	画面、暗転 (時間経過) 画面、明転 ユリイデル、サヴァ、立ち絵表示。 ……おかしいわ。 ご主人様が何回、聖杯を掲げても――	

			POP							POP					
28	27			26	25	24	23				22			21	
ユリィデル	メイセリス	ト書き ユリィデル		ユリィデル	ユリィデル	ユリィデル	ユリィデル	ト書き ユリィデル	ユリィデル		サヴァ			サヴァ	
その声は…… メイセリス様……	従者クンも待たせたね！	亜人、野良モンスター ※120年前なので、魔導兵・魔導傀儡は登場しない ユリィ！		私にとって こんなに幸せなことは ありません……	次の希望のために…… あなたたちのために…… この力が生かせるなら――	たとえ残された時間が 僅かでも……	私はヒトの心を 取り戻せました……	※120年前なので、魔導兵・魔導傀儡は登場しない ……あなたたちのおかげで			そんなのあんまりです！！ ご主人様やあたしは 彼女に生きてほしいのに……			ユリィデルは始めから 知っていたの……？ 自分はもう助からないって。	

32	31	30	29
メイセリス	ユリイデール	ユリイデール	メイセリス
<p>ユリイ……</p> <p>そっか、そうなんだね……</p>	<p>メイセリス様には……</p> <p>最期にお礼を言っておきたかったので……</p>	<p>ふふっ、お声を聞けてホッとしました……</p>	<p>っ！ ユリイ……</p> <p>キミ、もしかしてもう目が………</p>

	ADV	ID	キャラ	セリフ	備考
10			メイセリス	これが…「悲しい」という感情なのかな。	
9			メイセリス	ああ…なんて酷い有様だ。胸の中が軋むように痛くって、喉の奥が焼けるようだよ…	
8			メイセリス	けどキミは違う！！ ボクは、そう信じてたのに…	
7			ユリイテール	ヒトとは、王であろうとなかろうと いつか死ぬ…芽吹いた花が土に還るように…	
6			ユリイテール	…命とは、そのように定められたものです。	
			ト書き	エルフ王メイセリス、ユリイテール、立ち絵表示。	
5			メイセリス	このボクを置いて、いなくなってしまうのかい？	
4			メイセリス	なにに死んでしまうのかい？ 他のヒトと同じように、呆気なく…	
3			メイセリス	ユリイ、キミは真王だ。 特別な存在…選ばれし人間だ。	
			ト書き	エルフ王メイセリス、立ち絵表示。	
2			サヴァ (M)	(だけど彼女の様子から、エルフ王も命の灯の最期を悟ったようでー)	
1			サヴァ (M)	(ご主人様とユリイテールのもとに追っ手を蹴散らしたエルフ王も合流した)	
			サヴァ ユリイテール エルフ王メイセリス		

POP			
	20	メイセリス	餞別ってやつさ。 今までボクを楽しませてくれたお礼……
	19	メイセリス	……でも、いいよ。 ボクが人間に手を貸すのは、これが最後……
	18	メイセリス	『命』という物差しの上で、ユリイと 同じ感覚で生きて、死ぬことができるんだから。
	17	メイセリス	キミはいいよね。多少の匂いの違いはあれど ユリイと同じ人間であることに変わりはない。
		ト書き	エルフ王メイセリス、立ち絵表示。
	16	メイセリス	いつもユリイの横で、ぼーっとした表情で 突っ立っていたくせに。
	15	メイセリス	ふうん……珍しいね、従者クン。 キミがそんなに切羽詰まった顔をするなんて。
	14	サヴァ	千年の時を生きているエルフ王なら 彼女を助ける方法だって……！
	13	サヴァ	『ユリイテールを助けてほしい』…… あたしもご主人様と同じ気持ちです！
		ト書き	SE：ザツと踏み出す音（主人公が詰め寄り） エルフ王メイセリス、サヴァ、立ち絵表示。
	12	メイセリス	ボクは永劫の時を、この痛みと空虚を抱えて 生きなきゃいけないのか……
	11	メイセリス	そうさ、わかりたくなかったよ…… こんな嫌な痛みなんて。
		ト書き	エルフ王メイセリス、立ち絵表示。
			ボクには、わからない……

					POP													
28	27	26	25	ト書き		24	23	22	21	ト書き								
メイセリス	メイセリス	メイセリス	メイセリス	エルフ王メイセリス サウア		メイセリス	メイセリス	メイセリス	メイセリス		メイセリス							エルフ王メイセリス
ヘルファイヨトルの王サマから ルシファー遺物の隠し場所を 欺くことができる。	絶大な魔力で蘇らせることが できる上に……	ユリィの魂を	ユリィの体に移し替える ことができるばー	その魂を聖杯から		まあ、ボクが知識の源泉に 触れたのは、だいぶ昔の ことだけだね。	そう、ちょうどキミたちが 挑んだ『継承の儀』 みたいに。	全ての試練を越えると どんな知識でも手に入ると 言われているのさ。	この遺跡の奥には 3つの試練が 待ち受けていてね。		巫人、野良モンスター ※120年前なので、魔導兵・魔導傀儡は登場しない							

									POP	
	34	33	32	31	30					29
	メイセリス	メイセリス	メイセリス	サヴァ	サヴァ	ト書き	サヴァ	エルフ王メイセリス		メイセリス
全ての情報にね…:	知りたいことも 知りたくなかったことも	ボクはかつて このナヤジユナ遺跡で 『本当の知識』に触れた。	…従者クン。 このボクの知識と魔力を 侮っていないか？	そんな難しそうなこと エルフ王にできるのかしら？ ご主人様もそう思いますよね？	聖杯に宿った魂を ユリイデールに 移し替える、なんて…:	巫人、野良モンスター ※120年前なので、魔導兵・魔導傀儡は登場しない				まさに一石二鳥って やっだね。

ADV	ID キャラ	セリフ	備考
	10 メイセリス	不安定な魂同士が、ひとつの肉体の中で拒絶反応を起こす可能性があるからね。	
	9 メイセリス	ああ。今のユリイに聖杯から吸い取った魂を直接送り込むのは非常に危険だ。	
	8 ユリイテール	器、ですか…	
	7 メイセリス	せめて…：中継点となる『器』があればいいんだけどね。	
	6 メイセリス	でも、今はそれがなしし時間もない。	
	5 メイセリス	アヴメイの羽、羽虫の壺、旋晶プリズム、自然界の力を集約する3つの道具が必要だ。	
	4 メイセリス	本来であれば魂の移し替えは天使を封じる術『破天印』と同様に…	
	ト書き	エルフ王メイセリス、ユリイテール、立ち絵表示。	
	3 サヴァ（M）	（しかし肝心のユリイテールには移し替えに耐えうる体力がもう残っておらず…）	
	2 サヴァ（M）	（ご主人様たちは、温情の聖杯に宿った魂のユリイテールへの移し替えを試みた）	
	1 サヴァ（M）	（かつてエルフ王がナヤシユナ遺跡で得た知識の源泉の力を借りて…）	
	サヴァ ユリイテール エルフ王メイセリス		

ト書き	11 メイセリス	だから、吸い取った魂を一時的に『器』に留めて、波長を安定させたあとで――
	12 メイセリス	その魂をユリイの体に送り込んだ方がより確実に移し替えを行うことができる。
ト書き		SE：ザツ（主人公が踏み出す音） エルフ王メイセリス、サヴァ、ユリイテール、立ち絵表示。
13 サヴァ		『その器の役目、自分にできないか』って…… ご主人様、本気ですかつ!?
14 メイセリス		……従者クンの顔を見るに、どうやら冗談を言ってるわけじゃなさそうだね。
15 メイセリス		まあ、そもそも従者クンは冗談を言うタイプでもないし。
ト書き		ユリイテール、立ち絵表示。
16 ユリイテール		ごほ、っ……いけません…… あなたは、生身の人間なのですよ……!!?
17 ユリイテール		一時的とはいえ、加護を持たない人間がルシファアの魂を肉体に宿したら……
18 ユリイテール		いったい何が起るか…… あなたの魂が飲み込まれてしまう危険だつて――
ト書き		SE：足音（敵兵が迫る） サヴァ、立ち絵表示。
19 サヴァ		っ！ この足音……！ ご主人様！ また敵が近づいてますっ！！
20 サヴァ		この匂い、ヘルフィヨトル王の放った 精鋭に違いありません……！！
ト書き		エルフ王メイセリス、サヴァ、立ち絵表示。

POP					POP						POP			
	28	27	26	ト書き		25	24	23	ト書き			22		21
	メイセリス	メイセリス	メイセリス	スエルフ王メイセリス		サヴァ	サヴァ	サヴァ	サヴァ			サヴァ		メイセリス
	さすが智王と称される だけはあるね……	あの王サマ……この遺跡を 掌握して、魂の移し替えを 阻止する算段か。	倒しても倒しても キリがない。	※120年前なので、魔導兵・魔導傀儡は登場しない チツ……		ご主人様！ 一緒にユリイデールを 守りましょう！	でもヘルフィヨトル王の 思い通りになんて させませんっ！	次から次へと 兵士が押し寄せてくる！	ヘルフィヨトル兵 ※120年前なので、魔導兵・魔導傀儡は登場しない な、なんて数なの……！！？			今は連中を追い払って ユリイデールを守りましょう！	掃っても掃っても、虫のように 集ってくる……王サマの強欲にも困ったものだね。	

	33	32	31	30	29	
	ユリイデール	ユリイデール	ユリイデール	ユリイデール	ユリイデール	ト書き
	隠すためには………	王の手の届かない場所に ルシファー遺物を………	……… ……… ………	……… ……… ………	何か、止める方法は……… 私の力を………この命を……… 代償にしても………	ヘルファイヨトル兵 ※120年前なので、魔導兵・魔導傀儡は登場しない このままでは……… 温情の聖杯は ヘルファイヨトル王の手に………
						ユリイデール

						ADV							
17	16		15	14	13		12	11	10	9	8		
ユリィデール	ユリィデール	ト書き	サヴァ (M)	サヴァ (M)	サヴァ (M)	サヴァ ユリィデール エルフ王メイセリス	ユリィデール	ユリィデール	ユリィデール	メイセリス	ユリィデール		
温情の聖杯内に込められた魂を集めます。	今から、メイセリス様が……私の中に	ユリィデール、立ち絵表示。	彼女がご主人様をまっすぐ見つめるー) (弱々しいけれど、確かな力で手を握って	(その最中、ユリィデールが ご主人様の手をとった)	徐々にご主人様たちを追い詰めていく……)	(ヘルフィヨトル王が放った精鋭たちは	最後まで…… 私が、あのヒトを 守りたいのです。	私は、あのヒトに…… いつも守られて 助けられてきました。	……だとしても この方法が最良なのです。	キミの従者クンは 納得しないと思うけど？	……はい。		

27	メイセリス	くっ、もう時間がない……！
	ト書き	エルフ王メイセリス、立ち絵表示。
26	ユリイデル	しっかりっ……しっかりしてください！
25	ユリイデル	サヴァ……！！ どうして、私を庇ったりなんか……
	ト書き	SE：グサツ（矢が刺さる音） 血しぶきが飛ぶような効果背景など（イメージ）
	ト書き	ユリイデル、立ち絵表示。
24	サヴァ	っ！！？ 向こうから矢が……！！ ユリイデル！ 危ないっ！！
	ト書き	SE：シュン！（敵が矢など放つ音） 矢が迫る効果背景など（イメージ）
	ト書き	サヴァ、立ち絵表示。
23	ユリイデル	私のことなら、大丈夫です…… 移し替えを終えるまで、この体がもてば……
22	サヴァ	ご主人様も危険だけど…… そんなことしたらユリイデルだってー
21	サヴァ	ユリイデルからご主人様へ魂を移すって…… さっき言ってた『中継点』の話と逆じゃない！
20	サヴァ	ちよ、ちよっと待って……！！？ それってどういうこと！？
	ト書き	ユリイデル、サヴァ、立ち絵表示。
19	ユリイデル	あなたの中に……ルシファアの魂を 封じ込めます。
18	ユリイデル	そして私が……受け取った魂を真王の力で清め 守りの『檻』を創り上げたあとでー

36	36	35	34		33	32	31		30	29	28	
サヴァ (M)	サヴァ (M)	サヴァ (M)	サヴァ (M)	ト書き	ユリイデール	ユリイデール	ユリイデール	ト書き	メイセリス	メイセリス	メイセリス	
(暗闇の中へ、遠ざかっていった……)	そして静かに……)	(その二つは、だんだんと……)	(そして、最後に聞こえたのは ユリイデールとご主人様の声)	画面全体：辺りが光に包まれていくイメージ	うっ……うっ……うっ…… ああああああああ……！！！！	死んでほしくない……！ 真王なんかの犠牲になってほしくないのです……！	死なないで、サヴァ…… 私は、もう……もう誰にも……	ユリイデール、立ち絵表示。	and rochaispiorad…… scíatháin dhubb, gabh	O rí ag breathnú amach argach rudle……	今から魂の移し替え…… 『破天印』の発動を開始するっ！	ユリイ……！ 従者クン……！！

ADV	ID	キャラ	セリフ	備考
	7	???	我らはオーベリア……この星の父であり母。数多の命の根源を司りし一族……	
	6	???	聖女の『目覚め』を果たせし者……	
		ト書き	SE：心音ドクン（ループ止む） 画面、色反転がもとに戻る	
	5	ユリイテール	背を向ける、ダルムダル…… そして、神々が……ルシファーを――	
	4	ユリイテール	これは、世界の記憶……？ 星の創造主…… 不滅なる一族……付き従う幻獣たち……	
	3	ユリイテール	っ！ 頭の中に……いくつもの光景が 流れ込んでくる……！	
		ト書き	SE：心音ドクン（ループ） 画面、色が反転するなど	
	2	ユリイテール	そうだ、サヴァは……！？ メイセリス様や、あのヒトはどこに――	
	1	ユリイテール	ここ、は……この場所は、いったい……	
		ト書き	ユリイテール、立ち絵表示。	
		ユリイテール 聖王母サリアーオ ーベリア		

22	???	あの人間は不死性を宿した瞬間
21	ユリイテール	私を生かす代わりに…… あのヒトを葬れというのですか……？
20	???	最も神に近い存在…… 世界を治める『真王』として。
19	???	さすれば理に則り、我らはそなたの魂の器を癒し 現世の命を繋ぎとめることができる。
18	ユリイテール	消滅を……？
17	???	そなたは王の務めとして…… ルシファアの魂を宿した人間の消滅を願うのだ。
16	???	さあ、目覚めし王の証として そなたの願いをひとつ叶えることができる。
15	???	そなたは、世界の理を正すために選ばれし王…… その務めを果たすのだ。
14	ユリイテール	……
13	???	聖女よ、彼の魂を人間の器に宿らせることは 世界の理に逆らうことと同義と心得よ。
12	???	悪しき混沌を欲する罪深きタルムダル…… 彼奴に染まったルシファアは忌むべき存在。
11	ユリイテール	では、魂の移し替えは……？ あのヒトは無事なんですか……！？
10	ユリイテール	……あの時、私は無意識に真王の覚醒を果たし 体の限界を迎えてしまった……
9	ユリイテール	内なる覚醒と、肉体の限界……
8	???	聖女よ、そなたは内なる覚醒と肉体の限界を経て この神聖なる神界へと導かれたのだ……

			POP											
32	31	30	ト書き	エルフ王メイセリス	ト書き	29	28	27	26	25	24	23		
メイセリス	メイセリス	メイセリス				ユリイデール	ユリイデール	ユリイデール	ユリイデール	ユリイデール	????	????		
もしかしてキミはー	つ！ ユリイ……	魂の移し替えは成功したはずー	ポクの知識は完璧だった。	※背景：神界 ※120年前なので、 魔導兵・魔導傀儡は登場しない といった何が起きたんだ……		画面、ホワイトアウト。 ユリイデール立ち絵、溶けるように白い闇の中へ消えていく。	私の願いは……	だとしたら、私は……	私も、その中のちっほけなひとつ…… あなた方が選んだ『人形』に過ぎない……	その中で、争いが起こり ダルムダルは、あなた方の敵となった……	神々は幾度も、命ある者に試練を課し…… 幾度も、運命の螺旋を編み上げてきた……	……先ほど、頭の中に浮かんだ光景。 あれは、この世界の太古の記憶だったのでね。	そなたが望みさえすれば、歪みは消え去り 真王としての安寧が約束されよう……	世界の理から外れた、罪深き存在…… 異端の者、大いなる『歪み』を生み出す者……

ADV	ID	キャラ	セリフ	備考
	1	サヴァ ユリィテール エルフ王メイセリス くるみ（魂だけの存在）	（墮天使ルシファアの魂を体に宿したご主人様はその身に不死性を宿した）	
	2	サヴァ（M）	（背中に刻まれたルシファアの紋章… 共に浮かぶ『永劫の魂の檻』という言葉	
	3	サヴァ（M）	（それは、ユリィテールの真王の力で邪悪な魂が清められ、封印された証でもあった）	
	4	サヴァ（M）	（だけど、魂の移し替えの代償はあまりにも大きくて…）	
	5	サヴァ（M）	（強い光の中、くるみ立ち絵（透けている）表示。 （盃から水が溢れるように肉体という名の器から零れ落ちたご主人様、くるみ本来の魂は…）	
	6	サヴァ（M）	（引きはがされるように、ご主人様の肉体から追い出されてしまった）	
	7	ト書き ト書き ト書き	くるみ立ち絵（透けている）、風に飛ばされるように消えていく。 画面、暗転。	
	8	サヴァ（M）	（今までの記憶も、自分自身の心も全てを失ったご主人様は…） （まるで糸の切れた人形のようにその場に倒れこんだ…）	

ト書き	20 ユリイテール	19 ユリイテール	18 ユリイテール	17 ユリイテール	ト書き	16 ユリイテール	15 メイセリス	14 メイセリス	13 メイセリス	12 ユリイテール	11 ユリイテール	10 ユリイテール	9 メイセリス	ト書き	ト書き	
ユリイテール立ち絵、光を帯びて輝く。	だから…：あなたの消滅を願う代わりにー	私は…：そう、信じています…	この先の未来の…：希望となる…	あなたとの優しさと勇氣は	そう…：魂が不滅であるように 肉体に残った記憶も…：決して消えない。	ユリイテール、立ち絵表示。	命ある限り…：ヒトの魂は、不滅なのですから…	人形、なんかじゃありません…	この従者クンを…：いや、もはや 空っぽの人形の命を繋ぎとめるなんて。	世界の理に反してでも、 自分の命を犠牲にしても…	…：…：やっぱり、ユリイはバカだよ。 ボクには…：わからない。	目の中の…：大切な、たったひとりの命を 選んで…：しまったの、ですから…	数多のヒトの、命や幸せよりも…	私は、真王失格…：です…	ユリイ！ ひょっとしてキミは…	画面、暗転。 SE：ドサツと倒れる 画面、明転。 ユリイテール、エルフ王メイセリス、立ち絵表示。

32	ユリィデル	この言葉は…：神々が抱く
31	ユリィデル	『聖杯と鍵を神々の臥榻（がとつ）に捧げよ。我らオーベリアの声を聴けー』…
30	ユリィデル	…：『温情の聖杯は、唯一の希望』…
29	ユリィデル	ふふっ…：ありがとう、サヴァ… でも…：…：もう、大丈夫…
	ト書き	ユリィデル（光帯びている）、立ち絵表示。
28	サヴァ	そついうことなら…：特別にあたしをなでなくても構わないわよ？
27	サヴァ	ユリィデル…：あなた、泣いてるの…：？
	ト書き	サヴァ立ち絵、光を帯びて輝く。
26	ユリィデル	それが、私の…：真王としての…： 最初で、最後の…：願いです。
25	ユリィデル	あなた自身が、望む限り…
24	ユリィデル	どうか、あなたは…：ご主人様のそばについてあげてね…
23	ユリィデル	サヴァ…：私を守ってくれて、ありがとう…
	ト書き	ユリィデル（光帯びている）、サヴァ、立ち絵表示。
22	サヴァ	たしか、ユリィデルが危ないと思って… 無我夢中で飛び出して、そのあと…
21	サヴァ	うっ…：あれ…：？ あたし、どうなっちゃったの…：？
	ト書き	画面、ホワイトアウト。 光が集約されて、サヴァ立ち絵表示。

43	42	41		40	39		38	37	36		35	34	33	
サヴァ (M)	サヴァ (M)	サヴァ (M)	ト書き	ユリィテール	ユリィテール	ト書き	ユリィテール	ユリィテール	サヴァ	ト書き	ユリィテール	ユリィテール	ユリィテール	
(そして、あたしは…その姿を いつまでも見つめていた)	(彼女は…ユリィテールは光の中で微笑んで そして、静かに消えていった)	(…まるで、夢の中のような光景だった)	ユリィテール(光帯びている) 立ち絵、 光の結晶となって、その場で消えていく。 ※SE(シャラララ…など綺麗な音)	あなたたちの、巡る命と…とも、に――	ありがとう… 私は、願いと共に…いつも、そばにいます…	ユリィテール(光帯びている)、立ち絵表示。	ユリィテールの最初で最後の願いは… あたしたちが、ちゃんと叶えるから――	あたしも、ご主人様も…覚えてる。 鍵のことも、ユリィテールのことも…	…わかった。絶対に忘れない。	サヴァ(光を帯びている) 立ち絵、表示。	愚かな願いを抱いた私を… どうか、許して…	ふたり、とも…この鍵のことを… 忘れない、で…そして――	これが…忌まわしいダルムダルを この世界から打ち消す鍵、です…	世界の記憶を垣間見て、得たもの…

					POP	
	47	46	45	ト書き	エルフ王メイセリス	44
	メイセリス	メイセリス	メイセリス			サヴァ (M)
	『本物の知識』に 触れた者ですらわからない なんてね……	……残念ながら ボクには到底理解できない。	ヘルファイヨトル兵 ※120年前なので、魔導兵・魔導傀儡は登場しない コリイ、キミの選択は とても人間らしいもの なのかもしれないね……			(そう、いつまでも…… 煌めく光の最後の一粒が消える、その時までー)

	ADV	ID キャラ	セリフ	備考
	7	ヘルフィヨトル王	フォルク GANG 卿が…？	
			おのれ、小癩な—	
	6	兵士	あなた様のお命を狙った謀反かと！ どうかお逃げください！	
	5	兵士	申し上げます！ 執権・フォルク GANG 卿が 兵を率いて玉座に迫っています…！！	
	4	ヘルフィヨトル王	儂の熟考の時間を邪魔しおって… いったい何事だ？	
		ト書き	SE：ボタン！と扉が勢いよく開く	
	3	ヘルフィヨトル王	ならばこちらは従者を捕らえて 聖杯の代わりに利用するまで—	
	2	ヘルフィヨトル王	その身と引き換えに、従者にルシファアの 魂を託すとは… 愚かしいことを。	
	1	ヘルフィヨトル王	… ユリイテールめ、儂の駒として 仕え続ければ生き永らえたものを…	
		ト書き	ヘルフィヨトル王、立ち絵表示。	
		ヘルフィヨトル王		
		ト書き	画面、暗転（時間経過） SE：兵士が押し寄せる音	

17	ヘルフィヨトル王	ク、ククッ……このままでは……
	ト書き	※画面は全体的に赤くなっている
	ト書き	背景（城）表示。
	ト書き	画面、血しぶきなどのイメージ背景表示。
	ト書き	SE：無数の刺突音
16	フォルクガング卿	ですから、どうか安心してお眠りください。
15	フォルクガング卿	あなた様の謎の死は、あの真王の従者が
		起因している……とても記録しておきましょう。
14	フォルクガング卿	愚行な最期は我が胸に留めておきー
13	フォルクガング卿	ご案じ召されるな。あなた様の
		もはや存在しないのですよ。
12	ヘルフィヨトル王	そなたのような、選ばれし者ですらない凡人に
		国の長が務まるとても？
11	ヘルフィヨトル王	成り立って来た……
		この国は、我が力と采配があつてこそ
10	ヘルフィヨトル王	すいぶんと早計な真似をしたものよ。
		……フォルクガング卿、そなたこそ
9	フォルクガング卿	真王とルシファ―遺物に目がくらみ
		少々、視野が狭くなられたのでは？
8	フォルクガング卿	我が王よ、智王と称された
		あなた様らしくもない。
	ト書き	画面、明転
		ヘルフィヨトル王、立ち絵表示。

	18	ヘルフィヨトル王	済まさぬ……済まさぬ、そ……… 儂の魂は……この国と、共にある…… 必ずや、蘇って……みせ、る……！
19	ヘルフィヨトル王	そして、いつか……いつか、かならず…… わが、ヘルフィヨ……トル……を………	
20	フォルクガング卿	SE：倒れる 画面、暗転。	
21	フォルクガング卿	……王よ、あなた様のお志はこの執権である フォルクガング家が未来永劫語り継ぎましょう。 あーっはっはっはっはっはっは！！！！	

	POP		POP		POP		POP
7		POP	5		POP	2	POP
メイセリス		サヴァ	メイセリス		サヴァ	ト書き	
ボクはここでお別れだ。 ユリイが死んだ今…		… … …	従者クンは、ほとんど 無意識に戦ってる。 魂が空っぽ同然の状態だね。		ご主人様の魂は 体から弾かれてしまった はずなのに…	ヘルファイヨトル兵 ※120年前なので、 魔導兵・魔導傀儡は登場しない	
6		POP	4		POP	1	POP
メイセリス		サヴァ	メイセリス		サヴァ	ト書き	
ヘルファイヨトル兵 ※120年前なので、 魔導兵・魔導傀儡は登場しない 連中が派手に暴れたせいで 遺跡の一部が今にも 崩落しそうだ。		… … …	ヘルファイヨトル兵 ※120年前なので、 魔導兵・魔導傀儡は登場しない		ほんやりしてるけど 戦っている…？		
ト書き		POP	3		POP	ト書き	
エルフ王メイセリス		サヴァ	メイセリス		サヴァ	ト書き	
		… … …	ヘルファイヨトル兵 ※120年前なので、 魔導兵・魔導傀儡は登場しない どうやら戦いの記憶が 肉体に残ってるみたいだね。				

ID
キャラ

セリフ

備考

										ADV			
15	14	13	ト書き	12	11	ト書き	10	ト書き	サヴァ エルフ王メイセリス		9	8	
サヴァ	サヴァ	サヴァ	ト書き	サヴァ (M)	サヴァ (M)	ト書き	サヴァ (M)	ト書き			メイセリス	メイセリス	
彼女のこと、あたしのことも、自分のことも忘れちゃったんですか……？	……ユリィデル、ですよ？ ご主人様の大切な仲間ですよっ！？	ご主人様、あたしのことわかります？ ユリィデルのことは……？	サヴァ、立ち絵表示。	そして魂が抜けた温情の聖杯が残されたけど…… (遺跡には、あたしと物言わぬご主人様	(ご主人様は、そんなエルフ王の言葉にも何の反応も示さなかった)	エルフ王メイセリス、立ち絵ハケる。	(『もう人間には未練はない』と言い残してその場を立ち去るエルフ王メイセリス)	エルフ王メイセリス、立ち絵表示。			……って、今のキミに聞いても無駄か。	従者クン、キミはどうするんだい？	人間には何の未練もない。

25	24	23		22	21	20	19	18	17	16
サヴァ (M)	サヴァ (M)	サヴァ (M)	ト書き	サヴァ	サヴァ	サヴァ	サヴァ	サヴァ	サヴァ	サヴァ
まるで嘘のような、穏やかな光景だった (ひとりの心優しき真王が命を落としたことが)	辺りは、古より続く静寂を取り戻す (…：やがて遺跡は崩落が収まり)	その轟音は全ての想いを飲み込んでいく…：… (大きな音を立てて崩れるナヤジユナ遺跡。)	画面、暗転。 SE：崩壊（遺跡の一部が崩れる）	それが監視者としてのー ううん、『あたし』自身の願いです…：…！	ご主人様の過去も、今も、そして未来も…：…	代わりに見続けますからね…：… あたし、ずっとご主人様のそばにいて	ご主人様が全てを忘れたとしても 全てがなかったことになるわけじゃない。	ユリイデル…：… そう、ですよね…：…？	『魂が不滅であるように 肉体に残った記憶も、決して消えない』…：…	…：… …：… …：…

ADV	ID キャラ	セリフ	備考
8	ナレ (サヴァ)	一方、魂の移し替えて器から切り離されてしまった	
	ト書き	画面、明転。 背景：(ナヤシュナ) 遺跡、くるみ (透けている) 立ち絵表示	
7	ナレ (サヴァ)	執権・フォルクガング卿の陰謀で ヘルフィヨトル王の死の濡れ衣を着せられたご主人様は 自分が何者か分からないまま、追われる身となった。	
6	ナレ (サヴァ)	120年前、これはご主人様が不死身となった物語。	
	ト書き	画面、暗転。 エルフ王メイセリス立ち絵、消える。	
5	メイセリス	誰かの死を悼むのは、これで最後さ… さようなら…ユリイ。	
4	メイセリス	…もう誰も、キミの眠りを妨げることはない。 安心して眠るといい。	
3	メイセリス	キミは牢獄生活が長かったからね。 こういう広い場所なら解放感もあって良いだろ？	
2	メイセリス	自分でもそう思うよ。人間の真似事なんて 全く意味がないと思っていたのに…	
1	メイセリス	…ユリイ、お墓を作るなんて ボクらしくないとキミは笑うかい？	
	ト書き	エルフ王メイセリス、立ち絵表示。	
		※花が咲いている 場所	

	15	ナレ (サヴァ)		14	ナレ (サヴァ)		13	ナレ (サヴァ)		12	ナレ (サヴァ)		11	ナレ (サヴァ)		10	ナレ (サヴァ)
ト書き			ト書き			ト書き			ト書き			ト書き			ト書き		
画面、暗転。	<p>… ああ、なんで今までずっと忘れてたんだろうなあ。 あだしってば、本当に… … … おバカさん。</p>	<p>これが120年前… … 真王ユリイテールとご主人様の出会いと別れの物語。</p>	<p>背景：平原・サヴァ、立ち絵表示。</p>	<p>たったひとりの主・ユリイテールの願いと ダルムタルの力を汲むルシファアの呪い… … その両方の運命を背負ってー</p>	<p>不死身となったご主人様はミストの各地を放浪して その後、何度も死亡と蘇生を繰り返し続けて 記憶を手放しながら… … … 今に至る。</p>	<p>画面、暗転。</p>	<p>そして最後の力を振り絞ったくるみの魂は… … 以降剥き出しの状態のまま、百年以上の時を 影と共に彷徨うことになる。 共鳴する魂の痛みと傷を、背負いながらー</p>	<p>背景：平原、くるみ (透けている) 立ち絵表示。</p>	<p>『魂の器は、何度滅びようとも甦る。くるみを手にして』 … … … そう刻まれたくるみを、共に託して。 斯くして、温情の聖杯は賢人の手によって 密かにクラウドス低に戻されることとなった。</p>	<p>ひとつの約束を果たすため、くるみの魂は 信頼できる唯一の存在・砂漠の賢人に ルシファアの魂が抜けた温情の聖杯を託す。</p>	<p>背景：砂礫の洞窟、砂漠の賢人・立ち絵表示。</p>	<p>くるみの魂も、ヒトとして交わしたクラウドス家当主との 約束を守るために孤独な戦いを続けていた。</p>					